CSS Nite

CSS Nite LP57

All About XD

2018.4.28 ㊏

クライアント視点から考える XDの導入・活用方法

栄前田 勝太郎

有限会社リズムタイプ
プランナー／ディレクター

エイマエダ カツタロウ

@katsutaro

今日の登壇者の中で唯一
デザイナーではありません！

ディレクターです

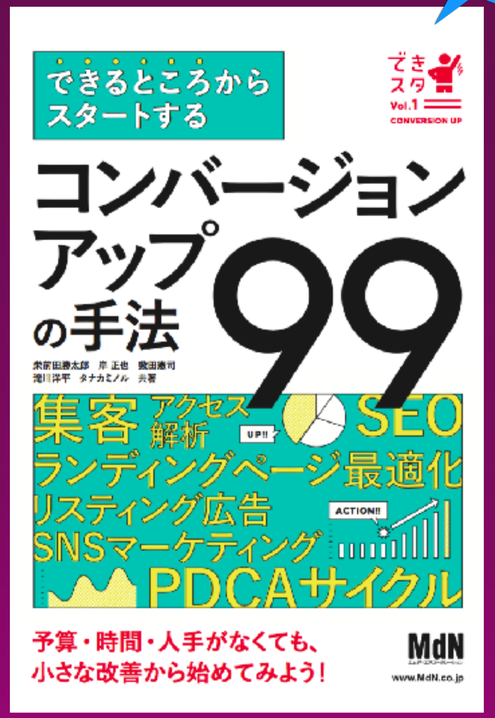
@katsutaro

現在やっていること

- プランニング／ディレクション
- Webサービスのグロースハック
- プロジェクト／チームの改善
- 組織における意識、仕組みの改善
- ワークショップデザイン

ディレクションの本も書きました

NEW!



リズムタイプという会社

RHYTHMTYPE

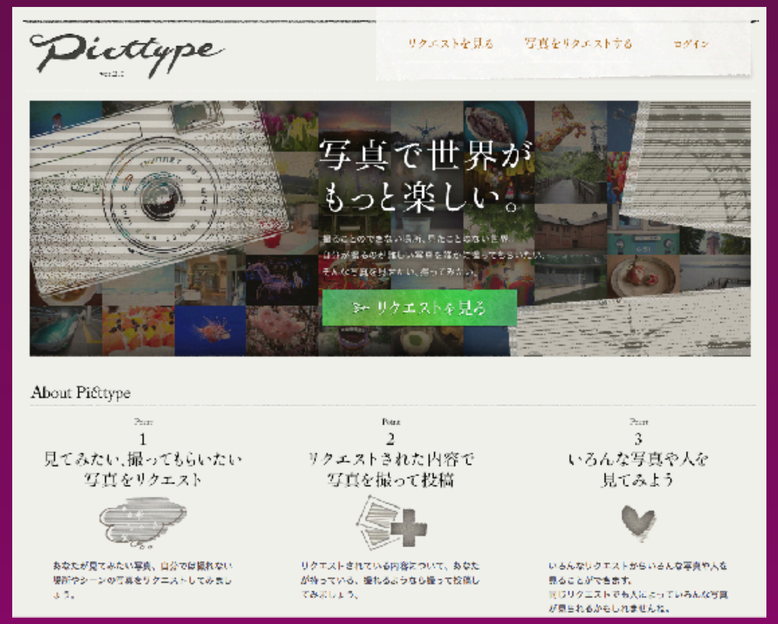
リズムタイプという会社

ディレクター
2人

デザイナー
1.5人

エンジニア
1人

こんなサービス作ったり



こんなサービスに関わっていました

そして現在は

コンサルティング

＋

改善／グロースハック

→

制作／開発

弊社の特徴として

プロジェクトへの途中参加、
立て直しのケースが多いです

クライアント視点から考えるXDの導入・活用方法

背景	クライアントが見ていること、思っていること
導入	どのようにXDを導入するか
活用	どのようにXDを活用しているか
まとめ	クライアントが得られる価値

セッションの目的とゴール

目的 「XDをどのように導入・活用するか」

ゴール 「クライアントに価値を伝える」

クライアント視点から考えるXDの導入・活用方法

背景	クライアントが見ていること、思っていること
導入	どのようにXDを導入するか
活用	どのようにXDを活用しているか
まとめ	クライアントが得られる価値

XD、便利ですよね？

XDができること

デザイン

プロト
タイピング

イメージの
共有

制作フローの効率化

コミュニケーション

エクスペリエンス・デザイン

X D

そんな便利なXDですが、
クライアントから見た場合は？

クライアント視点

クライアントが見ていること、
思っていること

クライアントのリテラシーの差

プロトタイプ
いいよね！

プロトタイプ
おいしいの？

クライアントの熱量の違い

このツール、
いいですね！

新しいツール、
いらないよ？

クライアントのリテラシーや
熱量には幅があります

クライアントの気持ち、
姿勢を把握して、
それらに見合った対応が必要

負荷を下げたい

新しいツールを増やしたくない

ドキュメントをそのまま社内でも使いたい

確認・検討に時間かけたくない

クライアント視点から考えるXDの導入・活用方法

背景　クライアントが見ていること、思っていること

導入　どのようにXDを導入するか

活用　どのようにXDを活用しているか

まとめ　クライアントが得られる価値

5つの導入ケース

1. プロジェクト初期から使い始める
2. 既存サイトをXDで再現する
3. 既存のワークフローに部分的に組み込む
4. CMS設計のイメージを伝える
5. 設計書+プロトタイプをまとめて作る

導入ケース1

プロジェクト初期から使い始める

ケース1：プロジェクト初期から使い始める

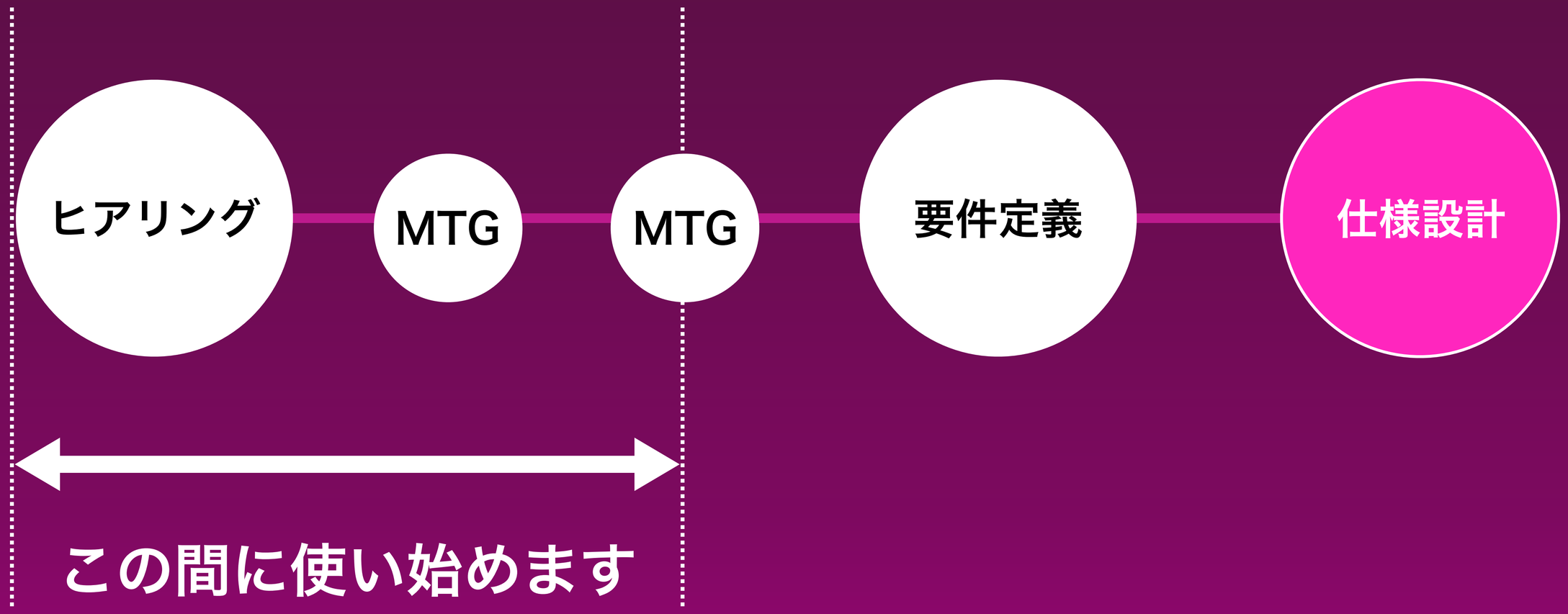
想定シーン

プロジェクト初期に
サイト構成やフローについての話をするとき

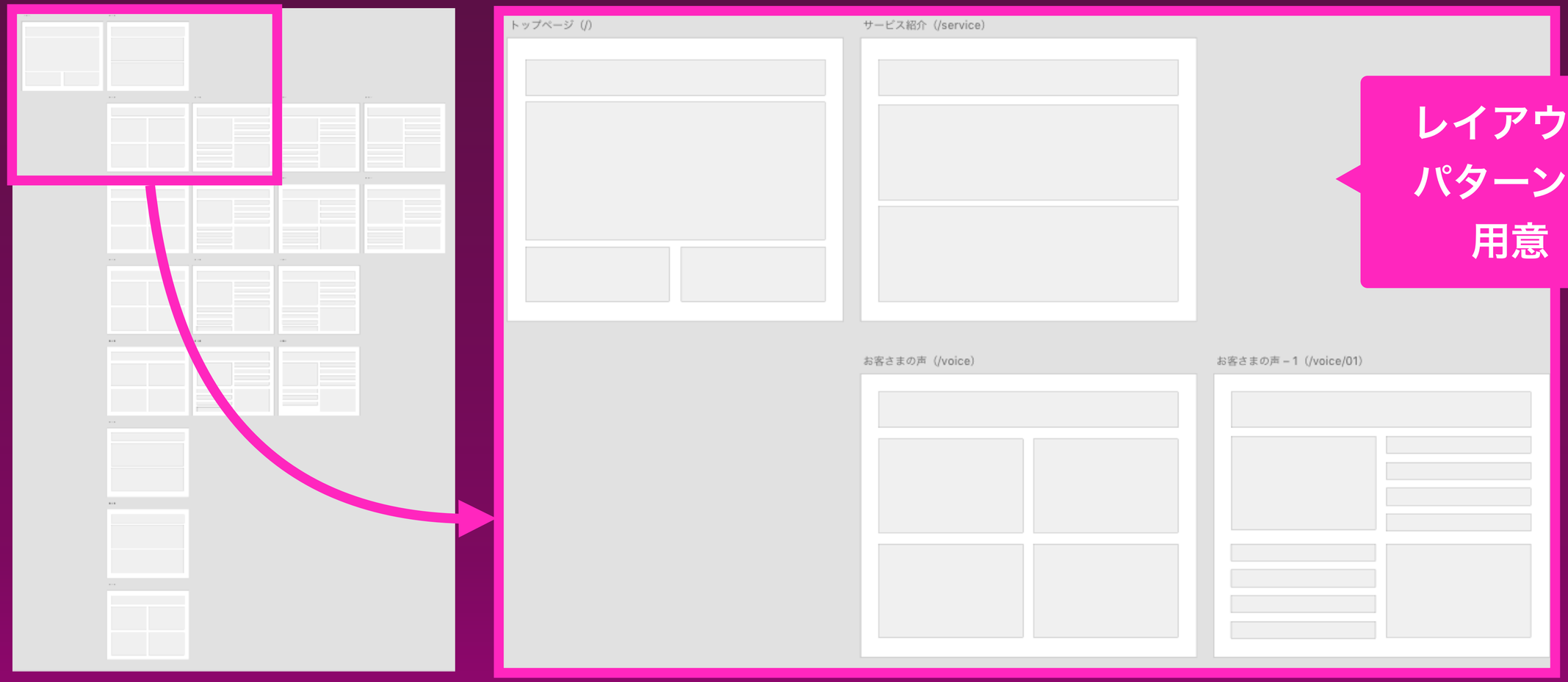
導入結果

「イメージしやすかった、伝わりやすかった
話した内容がその場で確認できてよかった」

ケース1：プロジェクト初期から使い始める

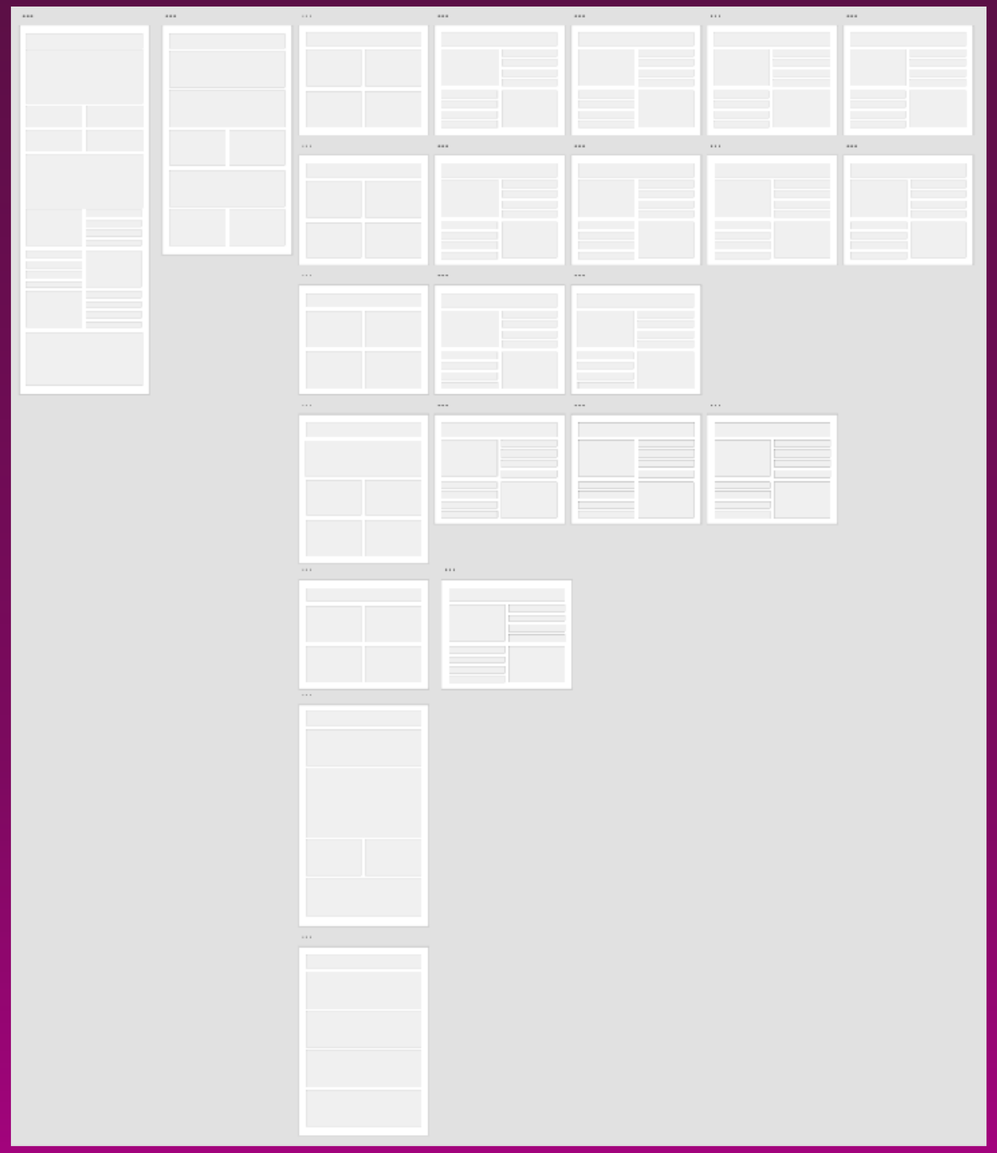


ケース1：プロジェクト初期から使い始める



打ち合わせ前に用意しておく

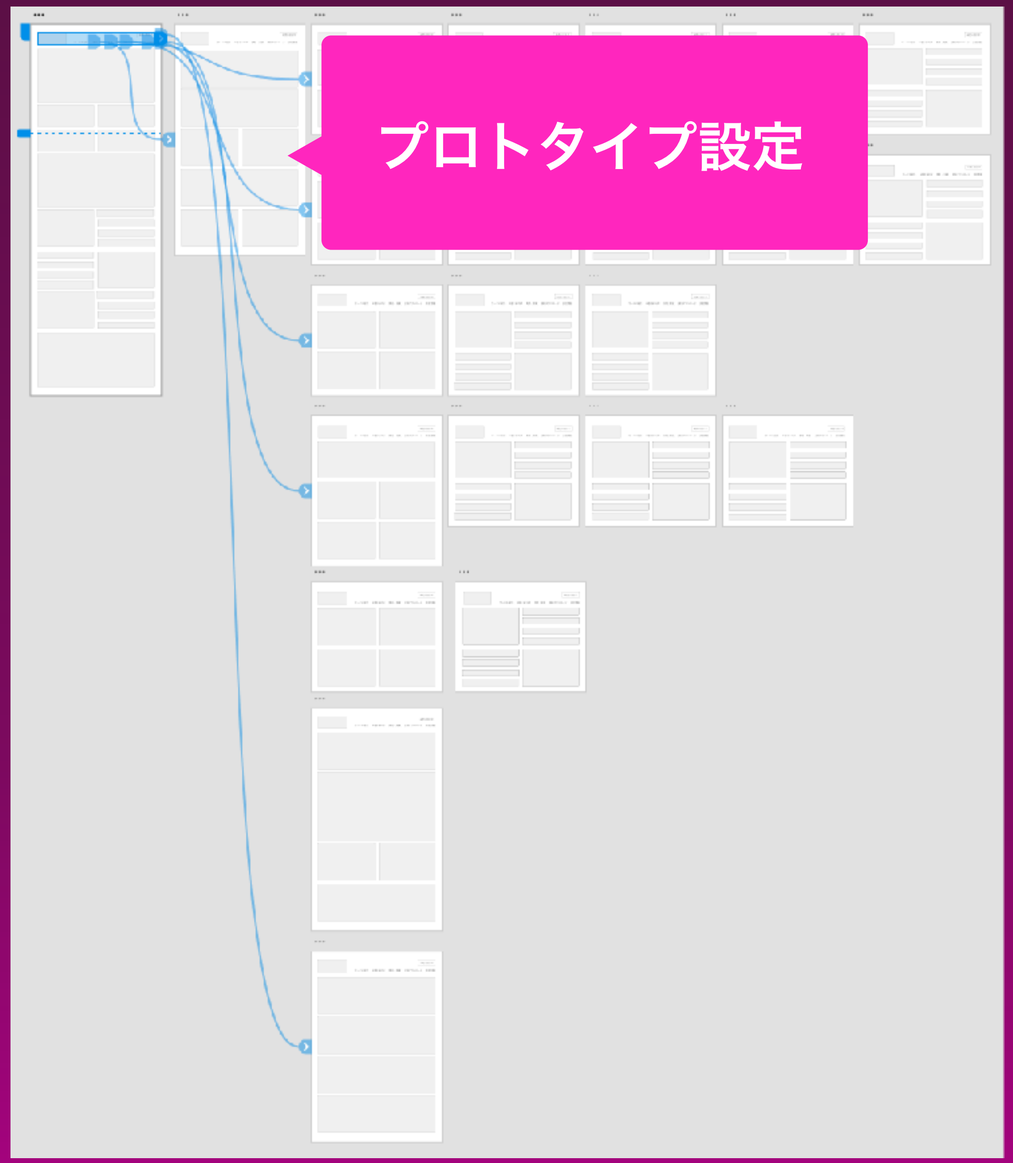
ケース1：プロジェクト初期から使い始める



適宜、ページを追加したり、
ページの構成要素を配置

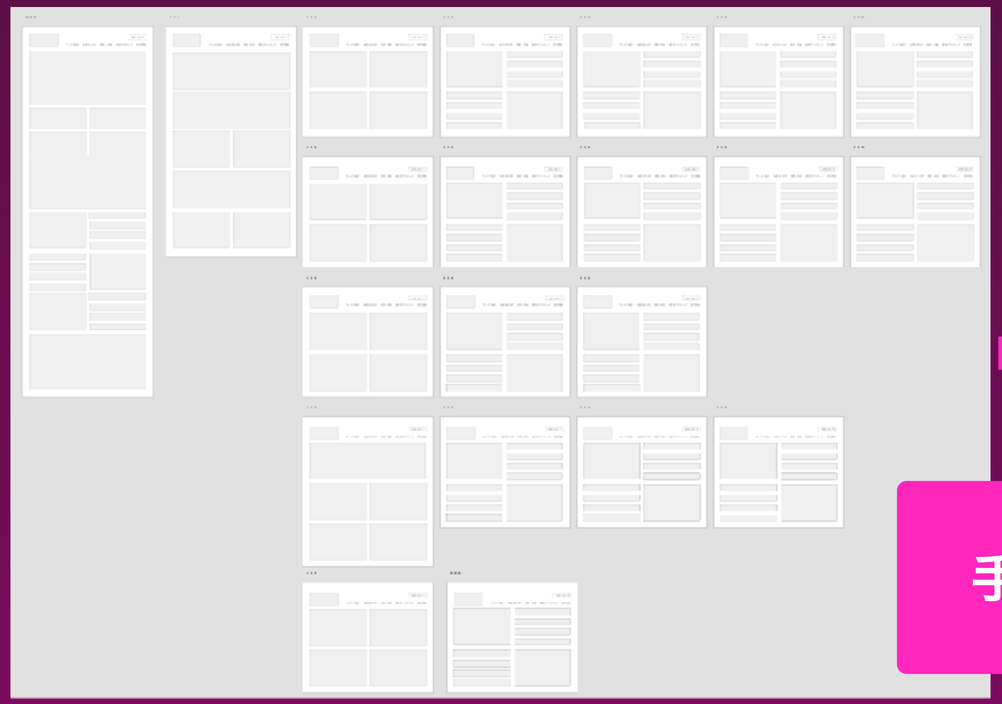
クライアントと話をしながら
その場で反映していく

ケース1：プロジェクト初期から使い始める



プロトタイプ設定をすると、
共有・確認がしやすい

ケース1：プロジェクト初期から使い始める



手動です

第一階層	第二階層	第三階層	ディレクトリ名	サブディレクトリ名	移行 / 新規	デザイン	原稿
トップページ			/		新規	○	-
	[illegible]		/style/		新規	○	◎
		[illegible]		/about/	新規	○	◎
		[illegible]		/strategy/	新規	○	◎
		[illegible]		/service/	新規	○	◎
		よくあるご質問		/faq/	新規	○	◎
	お客様の声		/stories/		移行	○	◎
		[illegible]		/story01/	移行	-	-
		[illegible]		/story02/	移行	-	-
		[illegible]		/story03/	移行	-	-
		[illegible]		/story04/	移行	-	-
		[illegible]		/story05/	移行	-	-
		[illegible]		/story06/	移行	-	-
		[illegible]		/story07/	移行	-	-
	事例・実績		/projects/		移行	○	-
		オフィス		/works/cat/offices/	移行	-	-
		研究開発施設		/works/cat/rd/	移行	-	-
		ホテル		/works/cat/hotels/	移行	-	-
		まちづくり/複合施設		/works/cat/urban/	移行	-	-
		LCM		/works/cat/lcm/	移行	-	-
		生産施設		/works/cat/production/	移行	-	-
		物流施設		/works/cat/distributing/	移行	-	-
		金融施設		/works/cat/financial/	移行	-	-
		データセンター		/works/cat/data_centers/	移行	-	-
		医療施設		/works/cat/medical/	移行	-	-
		教育施設		/works/cat/educational/	移行	-	-
		商業施設		/works/cat/commercial/	移行	-	-
		公共施設		/works/cat/public/	移行	-	-
	導入の流れ		/introduction/		新規	○	
	会社案内		/company/		新規	○	×
		企業理念		/policy/	移行	×	○
		会社概要		/outline/	移行	×	○
		アクセス		/access/	移行	×	○
		プレスリリース	/press/		新規	×	-
		お知らせ	/info/		移行	×	-

XDのサイトマップから、
リストをつくる

ケース1：プロジェクト初期から使い始める

ポイント

クライアントに新しいツール
であることを意識させずに導入する

導入ケース2

既存サイトをXDで再現する

ケース2：既存サイトをXDで再現する

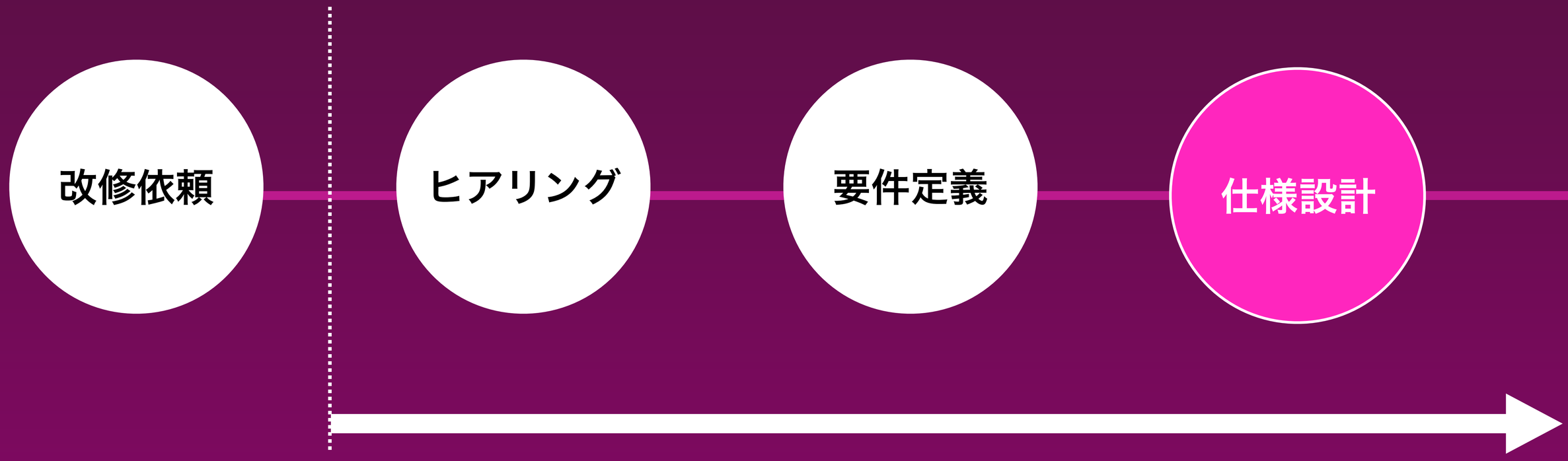
想定シーン

・既存サイトの部分改修を検討するとき
・新規コンテンツを追加するとき

導入結果

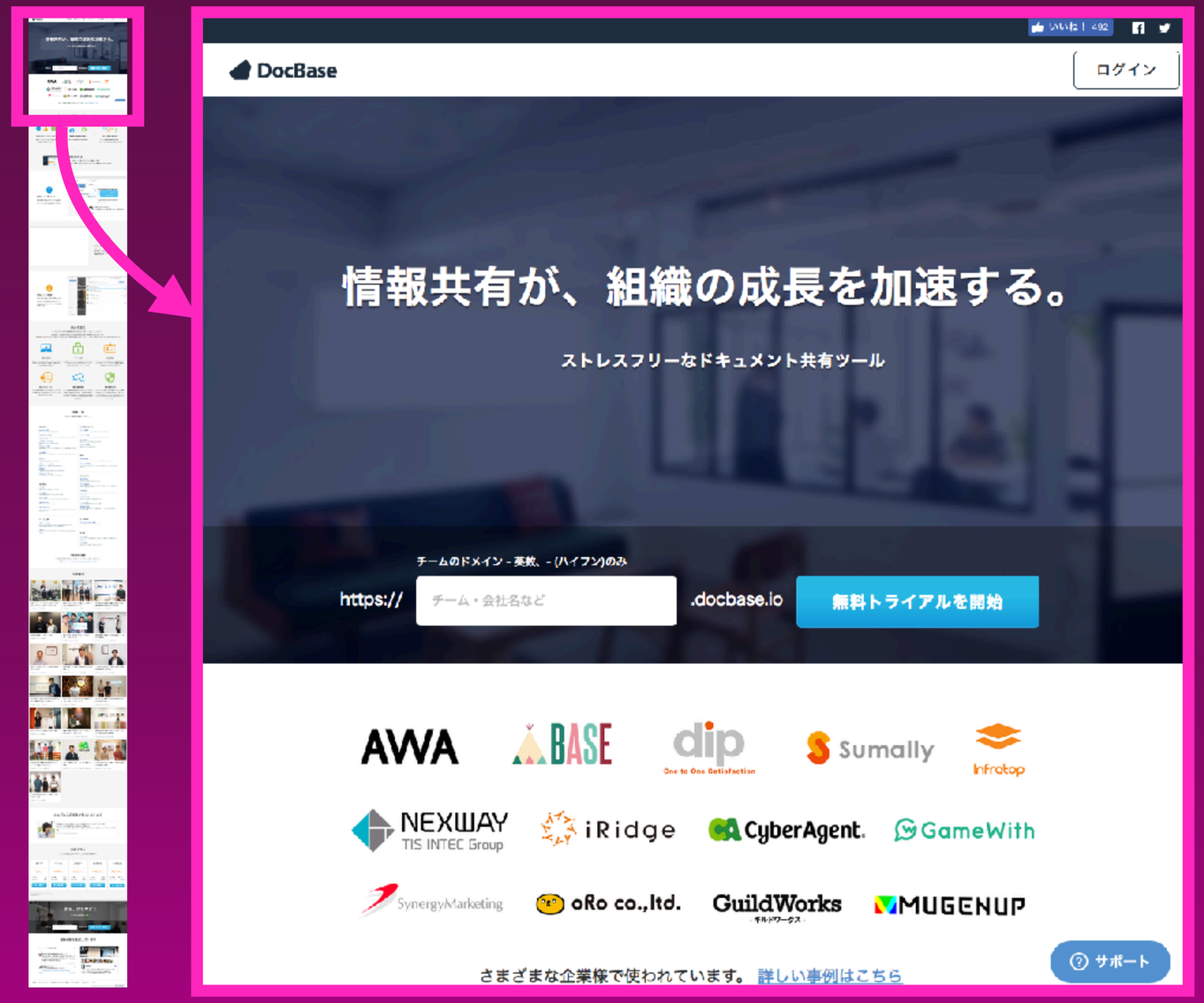
「どう変わるのかが、わかりやすかった、話を進めやすかった」

ケース2：既存サイトをXDで再現する



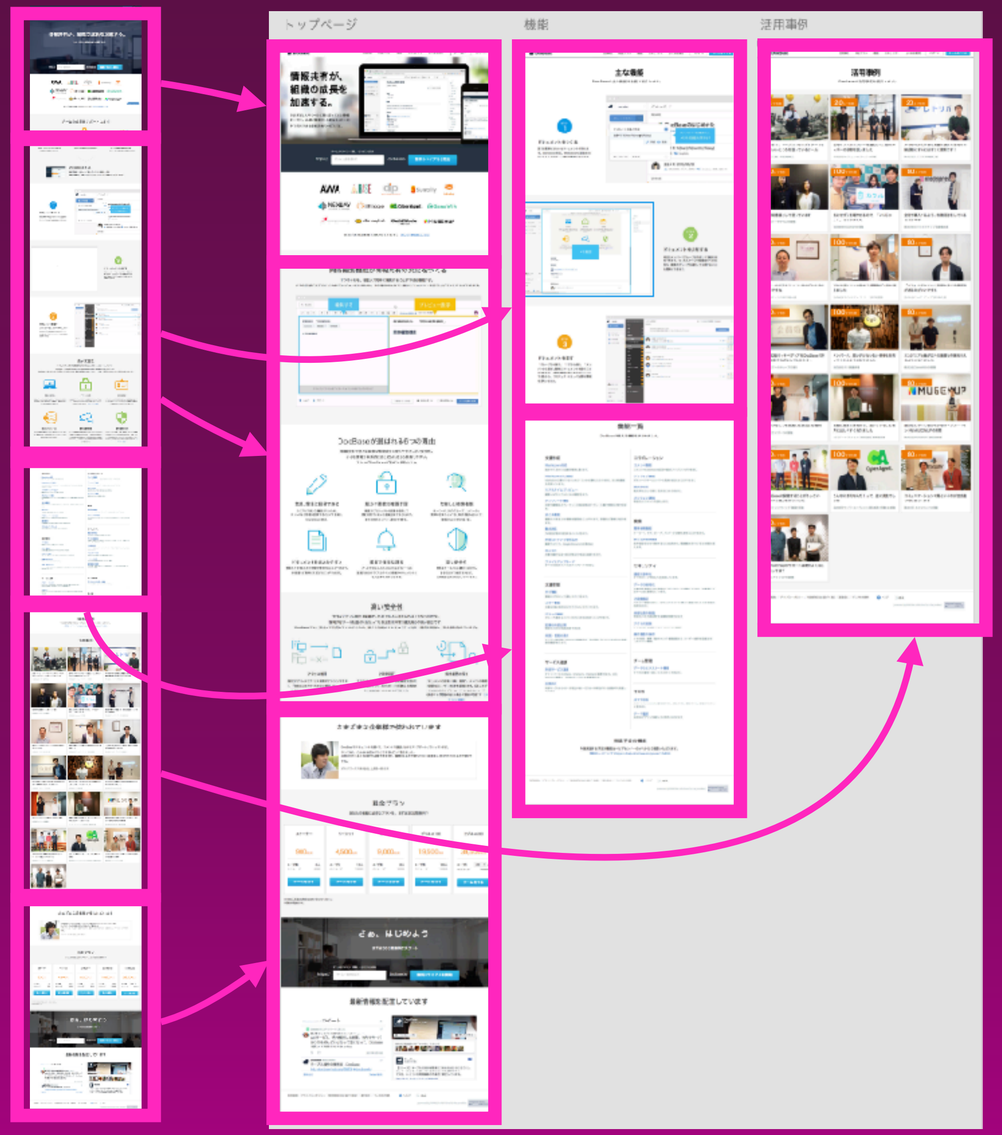
この間で使います

ケース2：既存サイトをXDで再現する



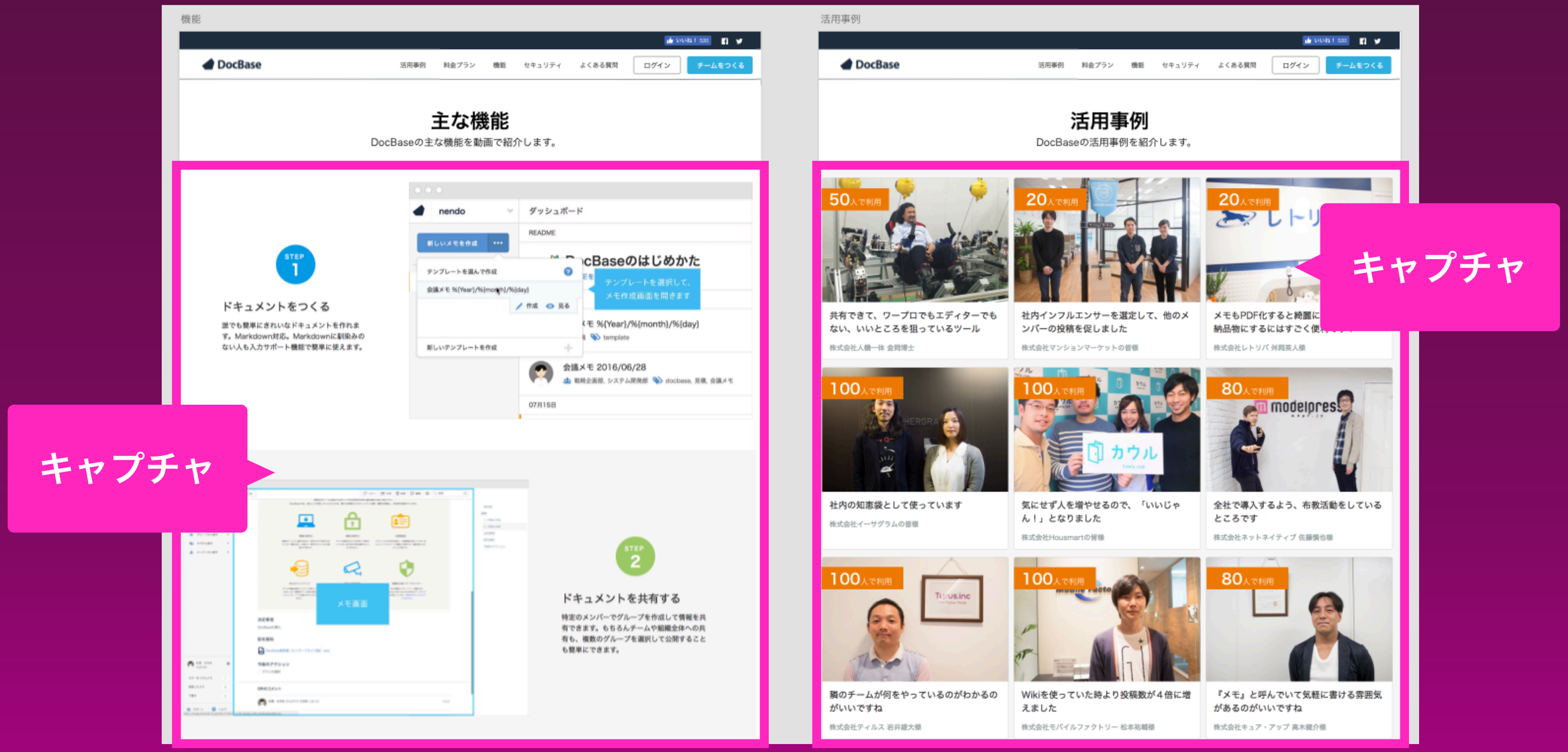
要件）
シングルページを
再構成する

ケース2：既存サイトをXDで再現する



既存ページをキャプチャ、
XD上で切り貼りして、
ページ分割、再構成

ケース2：既存サイトをXDで再現する



ケース2：既存サイトをXDで再現する

ポイント

必要な場所を、必要な分だけ、
手早く作る

導入ケース3

既存のワークフローに部分的に組み込む

ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む

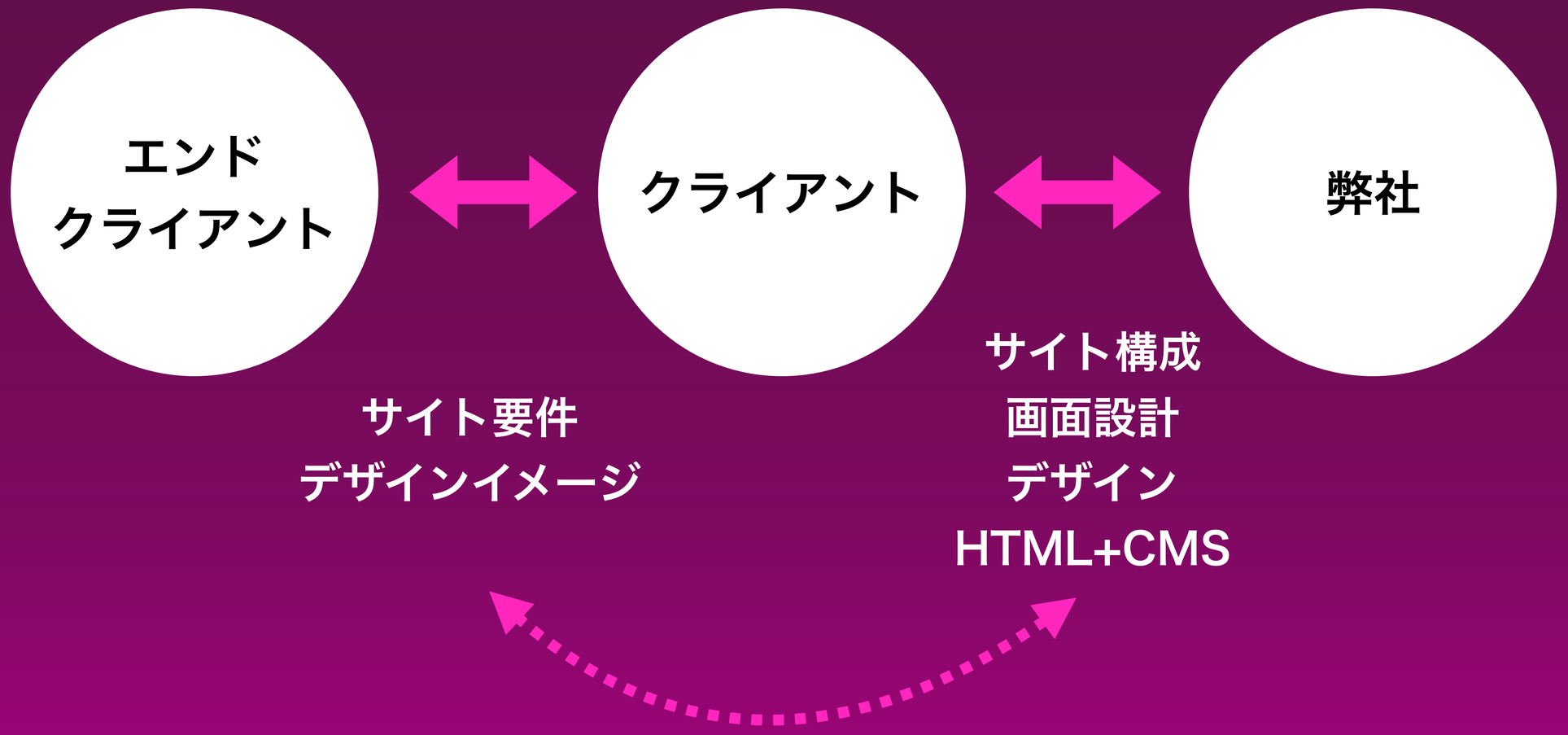
想定シーン

発注者と直接のコミュニケーションが
行えない場合

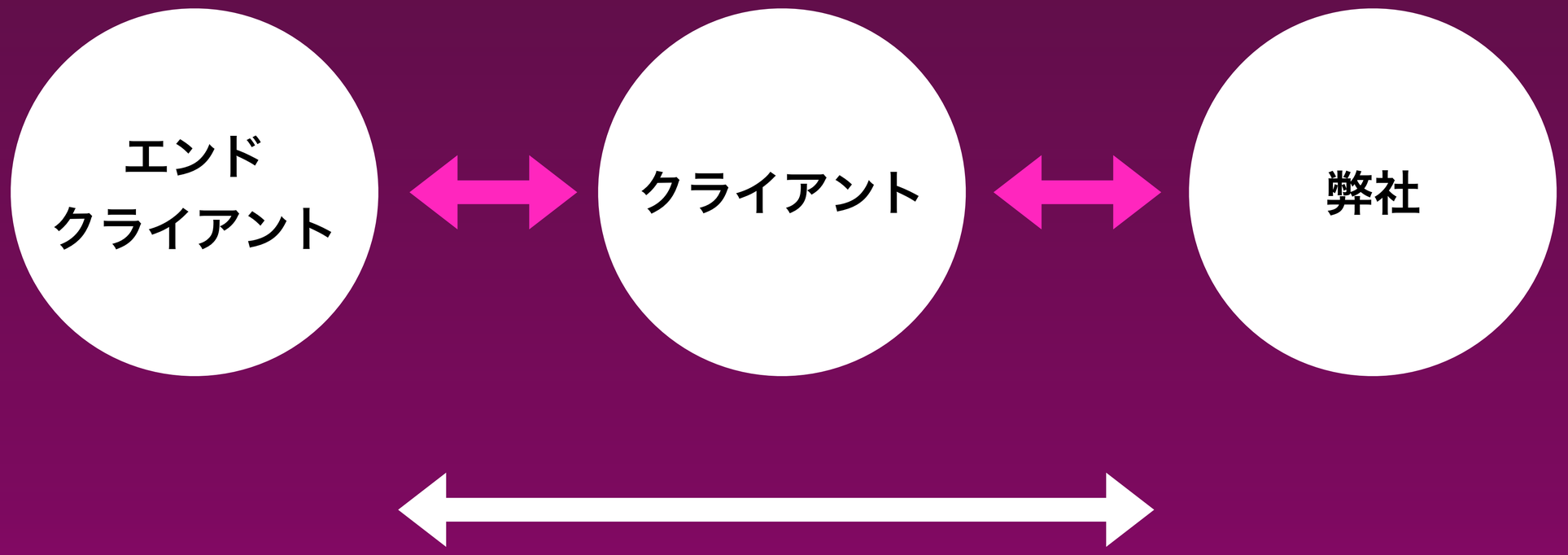
導入結果

「ブラウザでの
確認⇒戻し⇒再確認がしやすかった！」

ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む

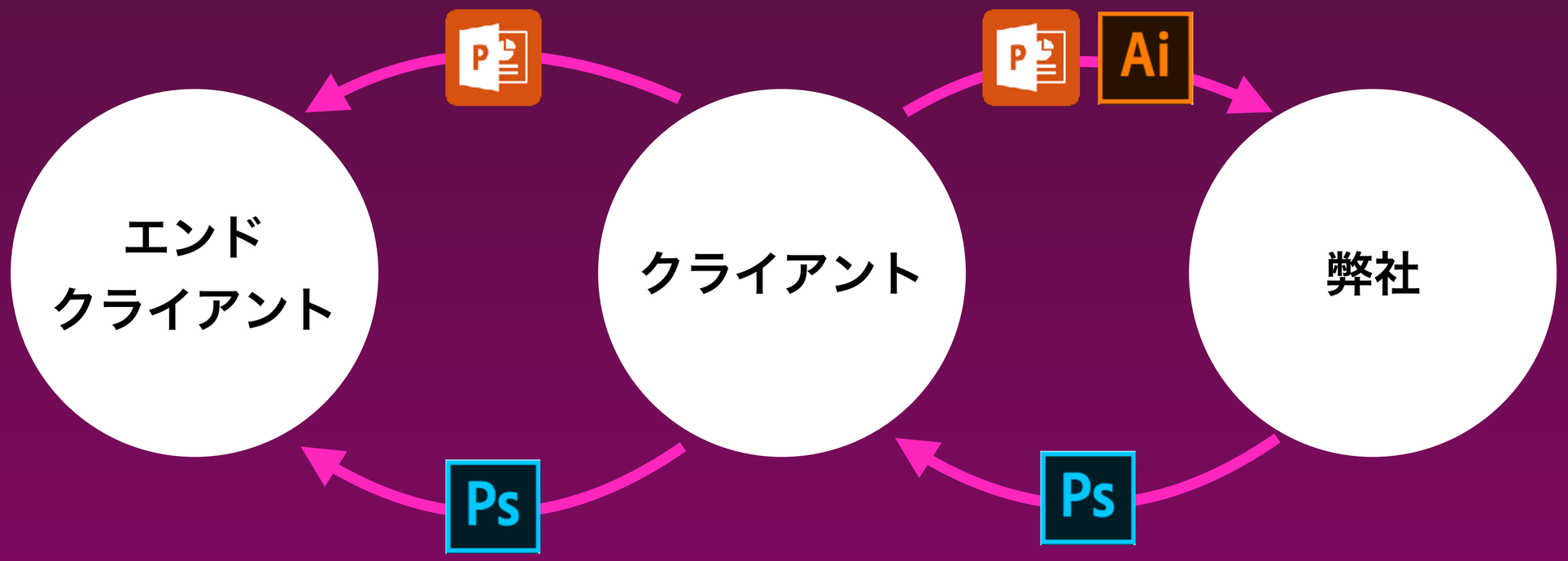


ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む



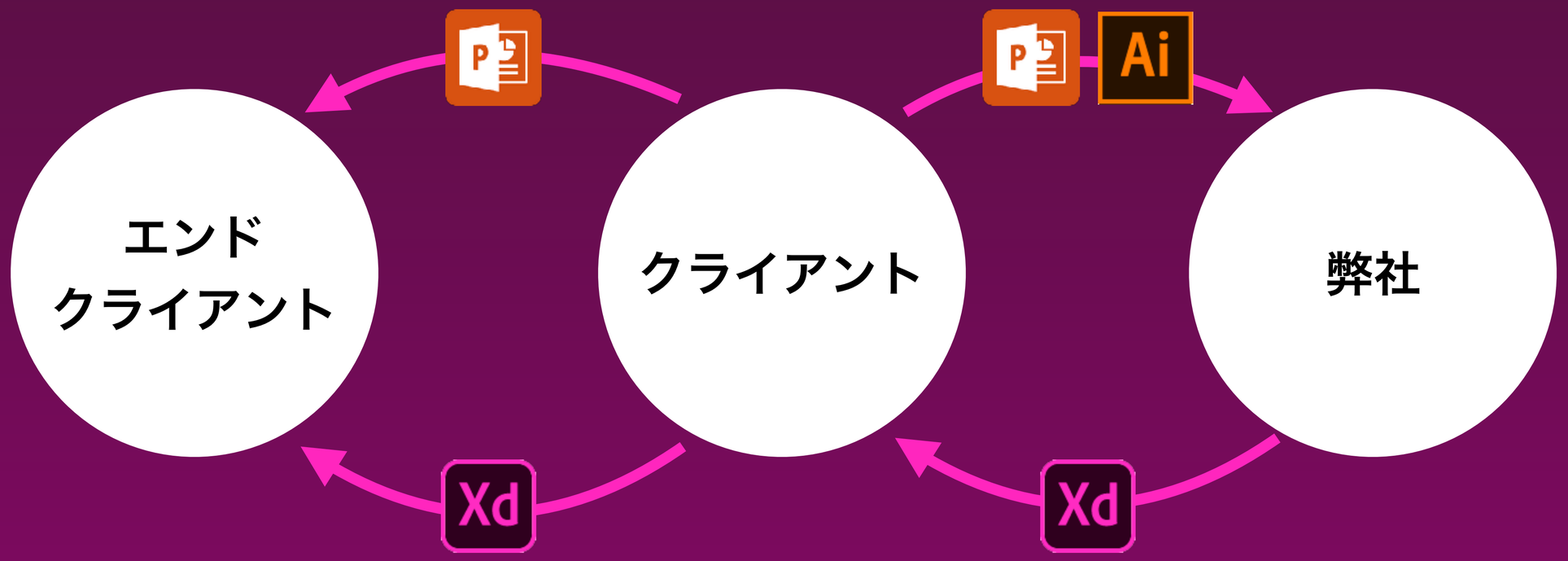
このフローを変えたくない

ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む



Photoshopでデザインした
カンプで確認

ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む



ワークフローは変えずに
弊社担当箇所のアウトプットを変更

ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む

ポイント

変えられる部分だけを変える

（変えることに時間をかけない）

導入ケース4

CMS設計のイメージを伝える

ケース4：CMS設計のイメージを伝える

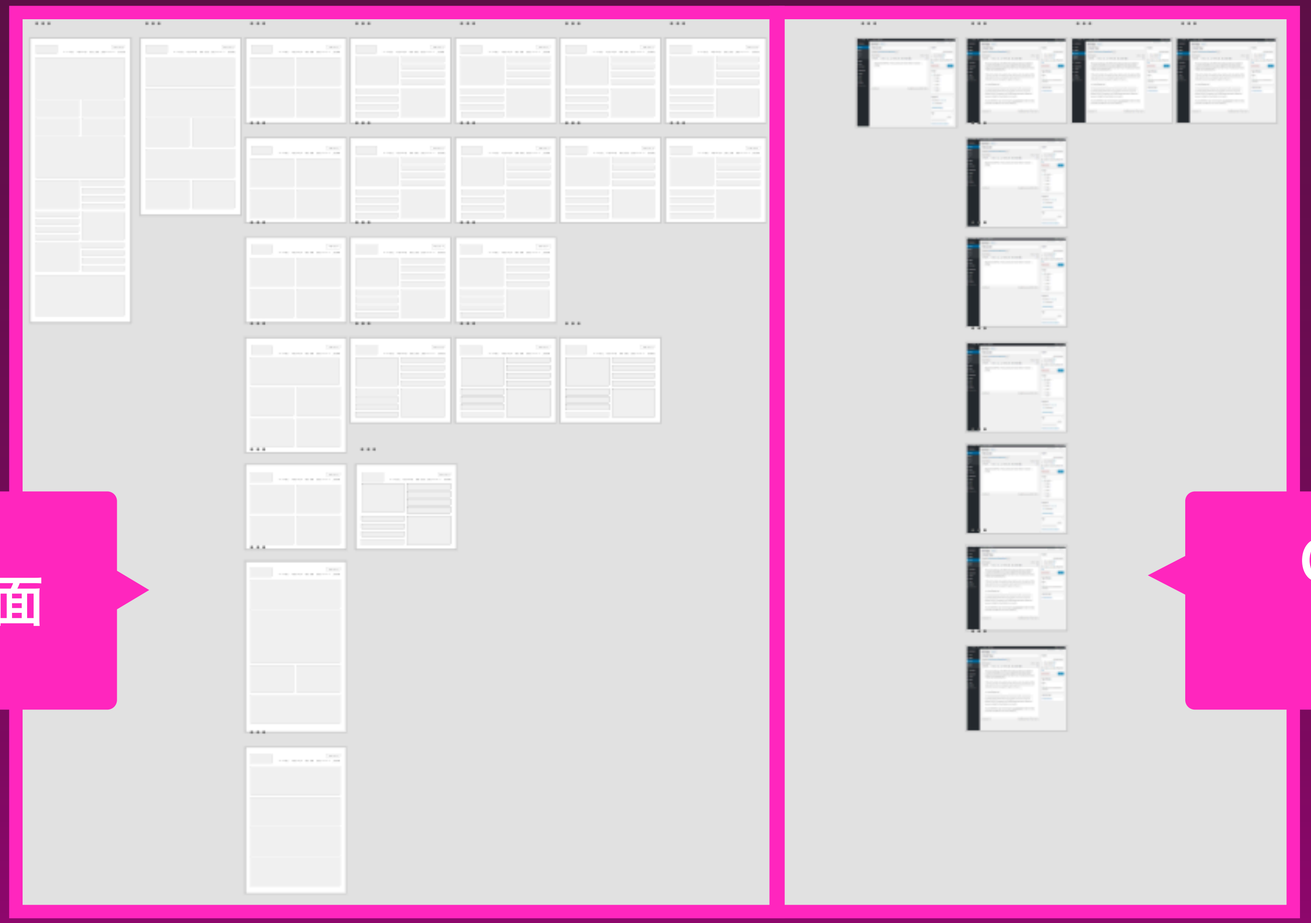
想定シーン

CMS管理画面で入力した内容が
どのように反映されるかを伝えるとき

導入結果

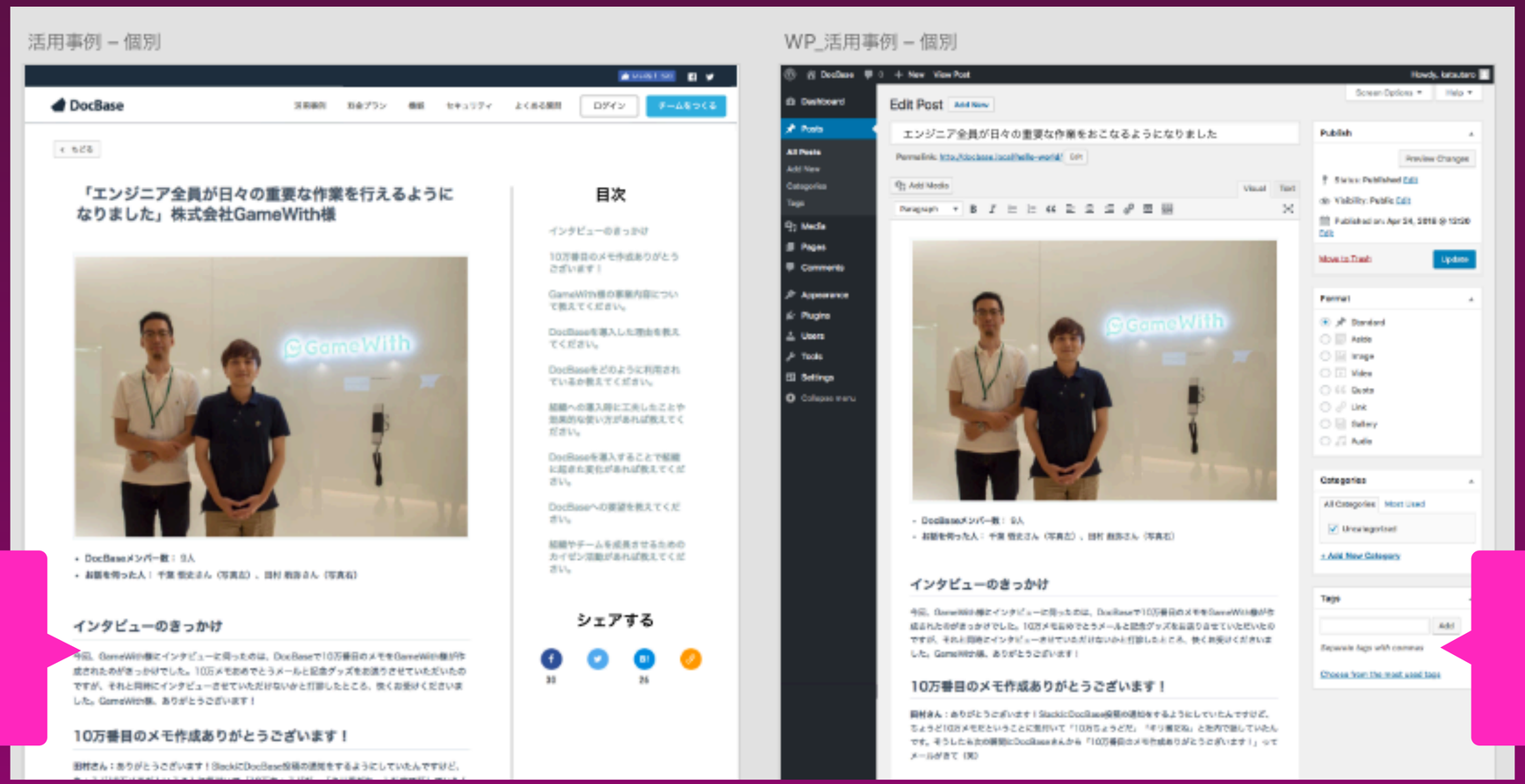
「仕様書ではよくわからなかった点が
イメージできるようになった」

ケース4：CMS設計のイメージを伝える



1つのXD上で、表示画面とCMS画面を作成

ケース4：CMS設計のイメージを伝える

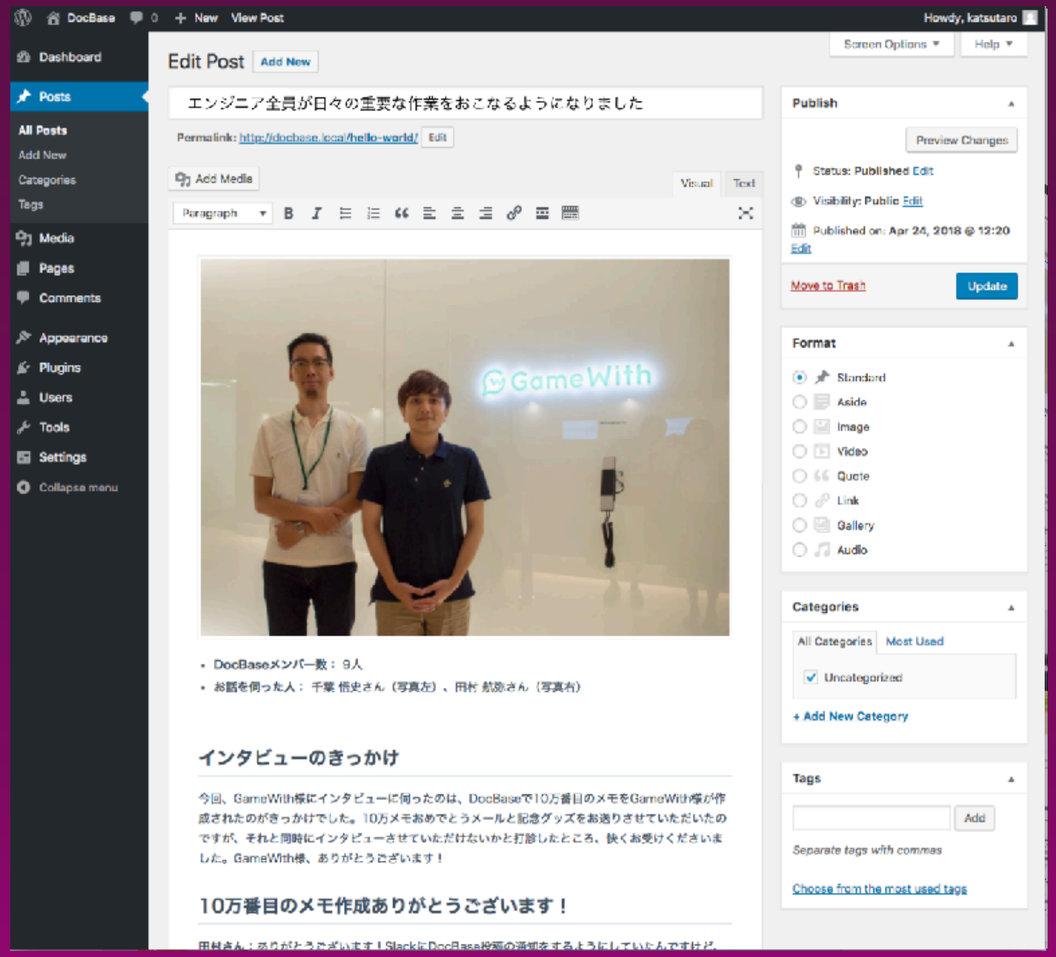


表示画面

CMS画面

1つのXD上で、表示画面とCMS画面を確認

ケース4：CMS設計のイメージを伝える



1つのXD上で、表示画面とCMS画面を確認

ケース4：CMS設計のイメージを伝える

表示画面

画面ごとに切替

CMS画面

1つのXD上で、表示画面とCMS画面を確認

ケース4：CMS設計のイメージを伝える

ポイント

ドキュメントだけでは
伝わりづらい部分を伝える

導入ケース5

設計書+プロトタイプをまとめて作る

ケース5：設計書+プロトタイプをまとめて作る

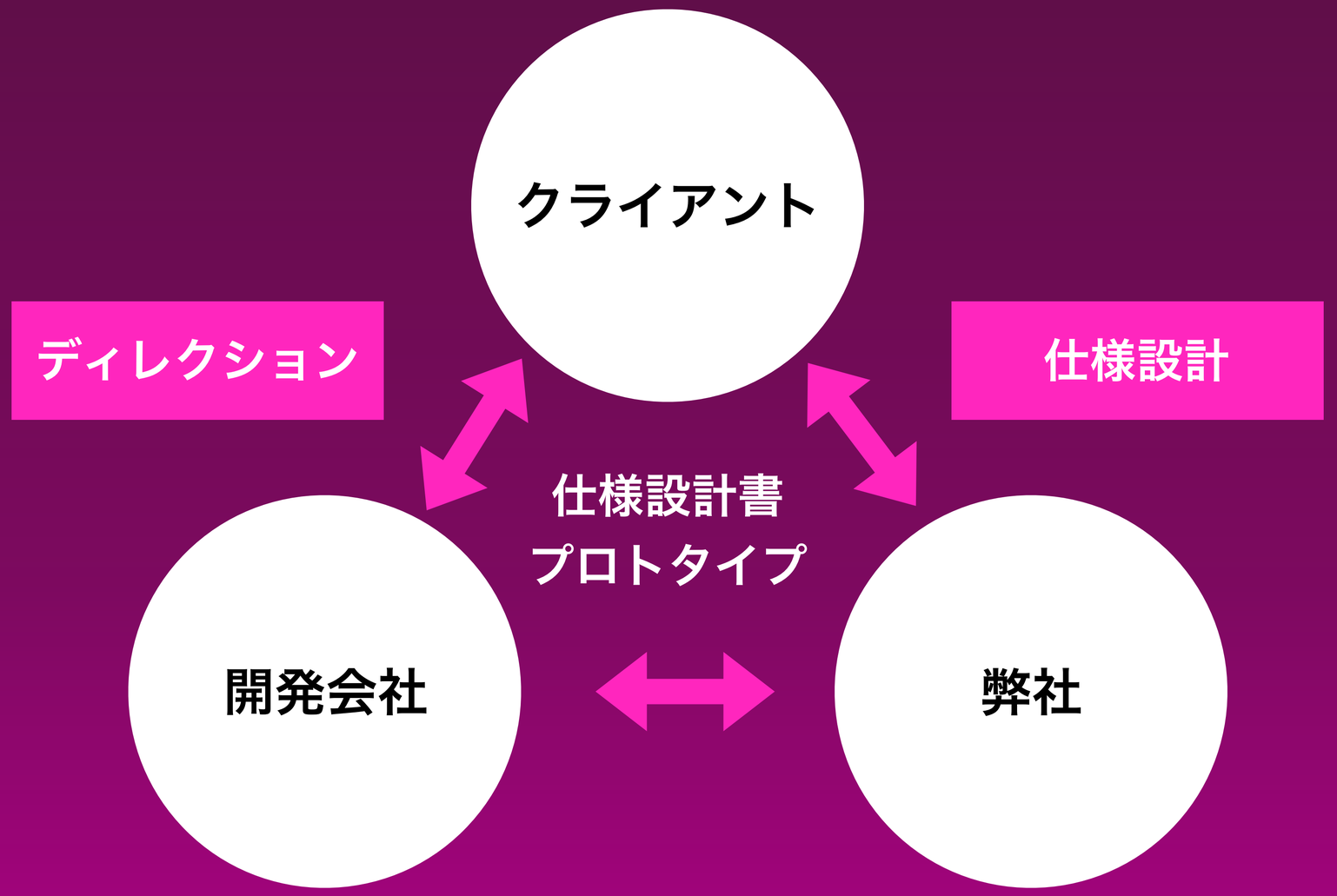
想定シーン

仕様設計書とプロトタイプを作成するとき
（クライアントと開発会社が別の場合）

導入結果

「管理・更新するファイルが
まとめられてよかった」

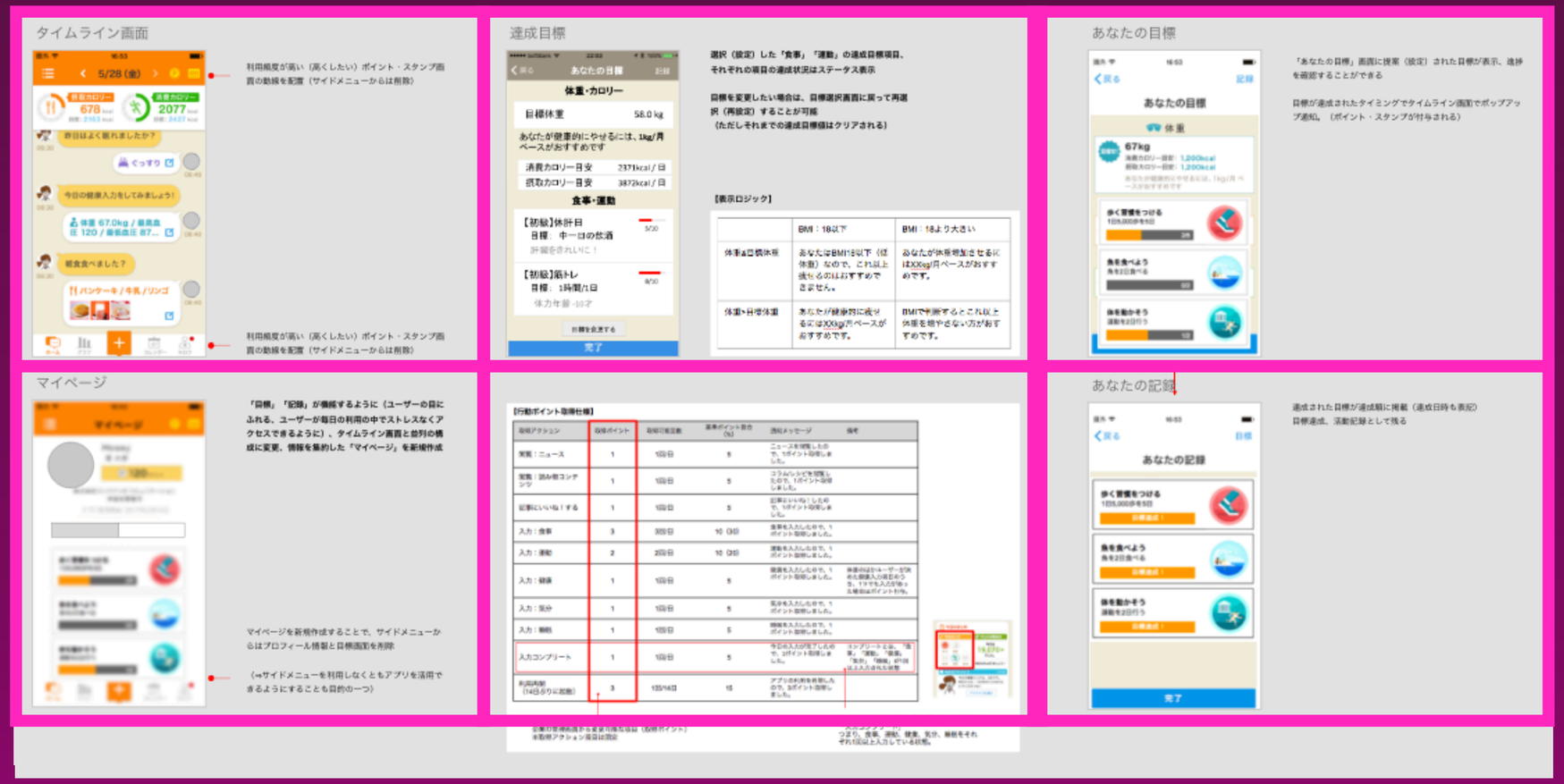
ケース5：設計書+プロトタイプをまとめて作る



ケース5：設計書+プロトタイプをまとめて作る

XD上で、仕様設計書の情報を記載

ケース5：設計書+プロトタイプをまとめて作る



画面ごとにGoogleスライドにコピペ

ケース5：仕様設計書と実装指示書を作成するとき

ポイント

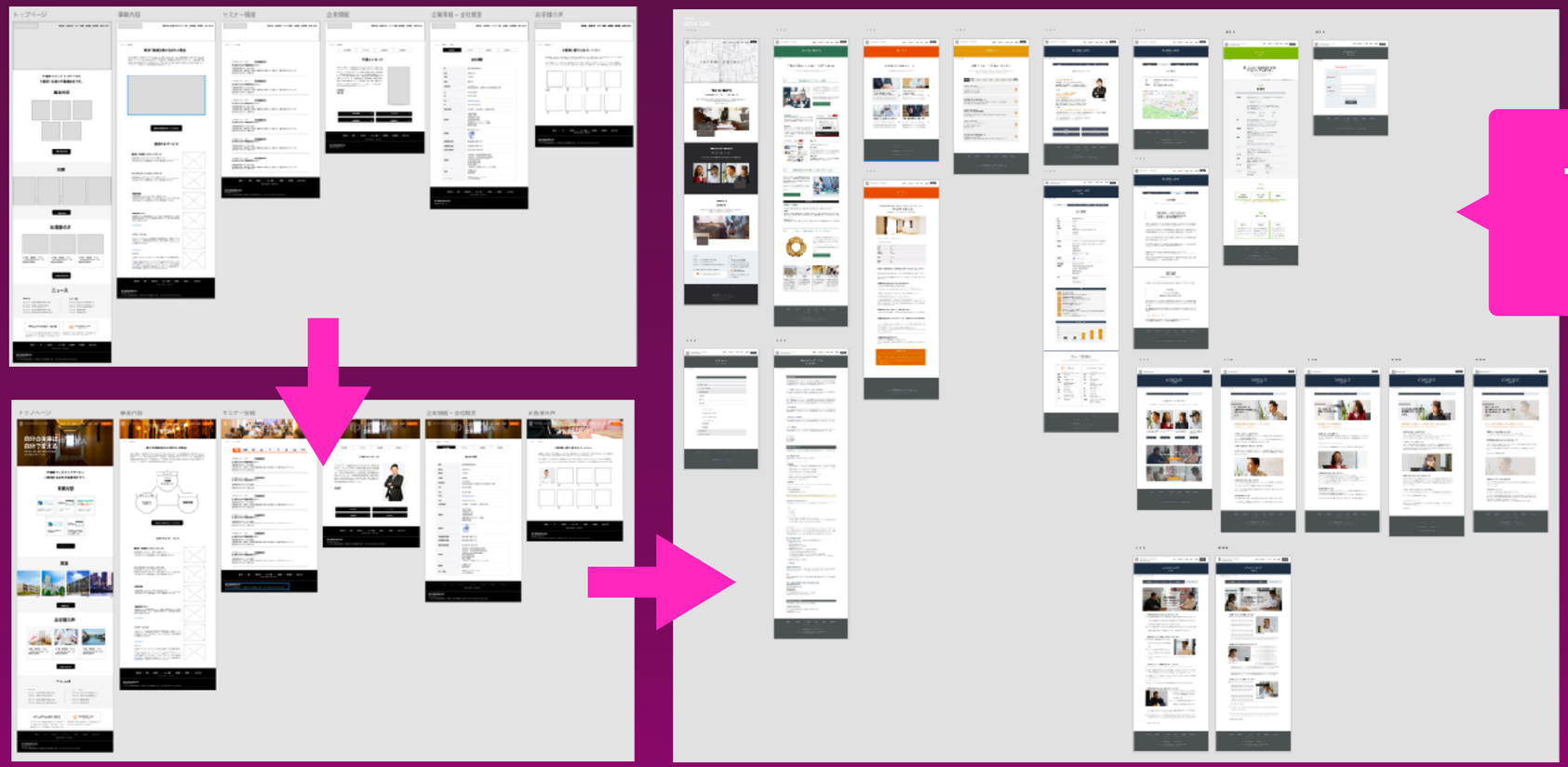
作成・共有するドキュメントを
少なくする（まとめる）

XD導入における
留意点、失敗例

失敗例1

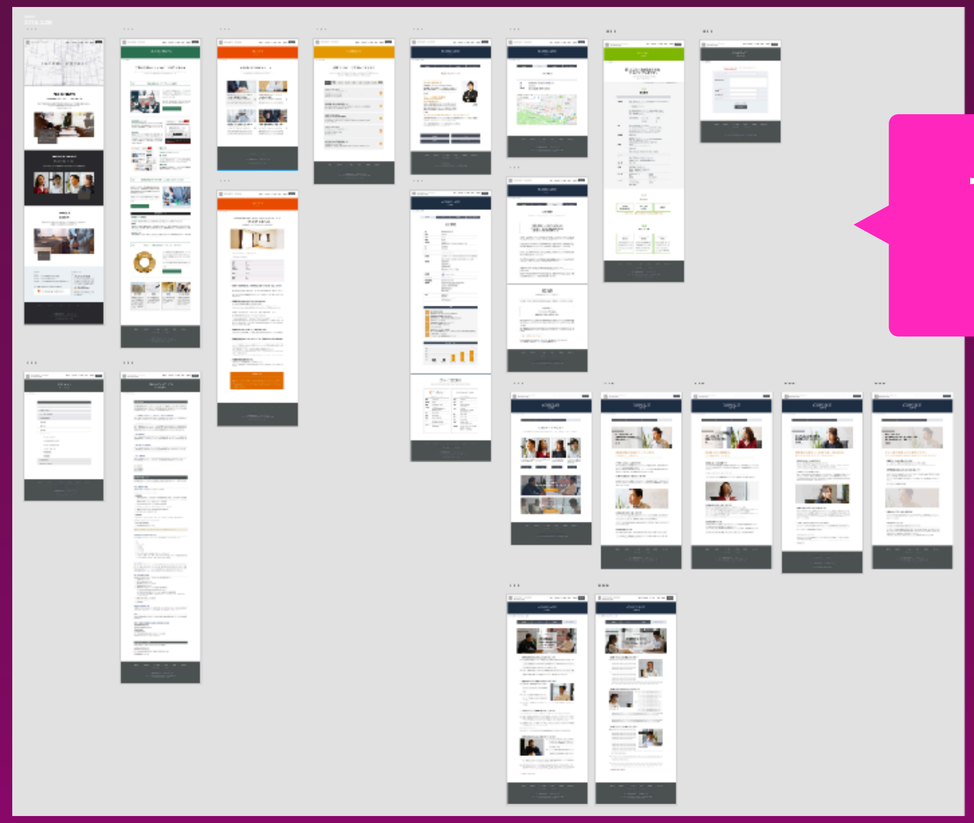
デザインであることを
認識してもらえてなかった！

失敗例1：デザインであることを認識してもらえてなかった



XD上で徐々にデザインイメージを詰めていた

失敗例1：デザインであることを認識してもらえてなかった



XDは、デザインではないと思われていた

失敗例1：デザインであることを認識してもらえてなかった

XD上で確認していた内容が
まだデザインではなく、
途中段階だと思われていた

失敗例1：デザインであることを認識してもらえてなかった

クライアントの理解度に合わせた
コミュニケーションができて
いなかった

失敗例2

XDを求められすぎるようになってしまった！

失敗例2：XDを求められるすぎるようになってしまった

デザイナーがPhotoshopでデザインし、
クライアントにはカンプで確認

失敗例2：XDを求められるすぎるようになってしまった

デザイナーの負荷を
減らすためにXDを導入

失敗例2：XDを求められるすぎるようになってしまった

全部XDでお願いします！

サイト設計

ワイヤーフレーム

LPデザイン

バナーデザイン

テキスト調整

失敗例2：XDを求められるすぎるようになってしまった

ディレクターで完結するため、
ディレクターの負荷が高くなってしまった

失敗例2：XDを求められるすぎるようになってしまった

全社的にXDを常用できる体制
とするか、
XDを利用するポイントを
きちんと伝える必要があった

クライアントと
しっかりと
向き合うことが大事

クライアント視点から考えるXDの導入・活用方法

背景　クライアントが見ていること、思っていること

導入　どのようにXDを導入するか

活用　どのようにXDを活用しているか

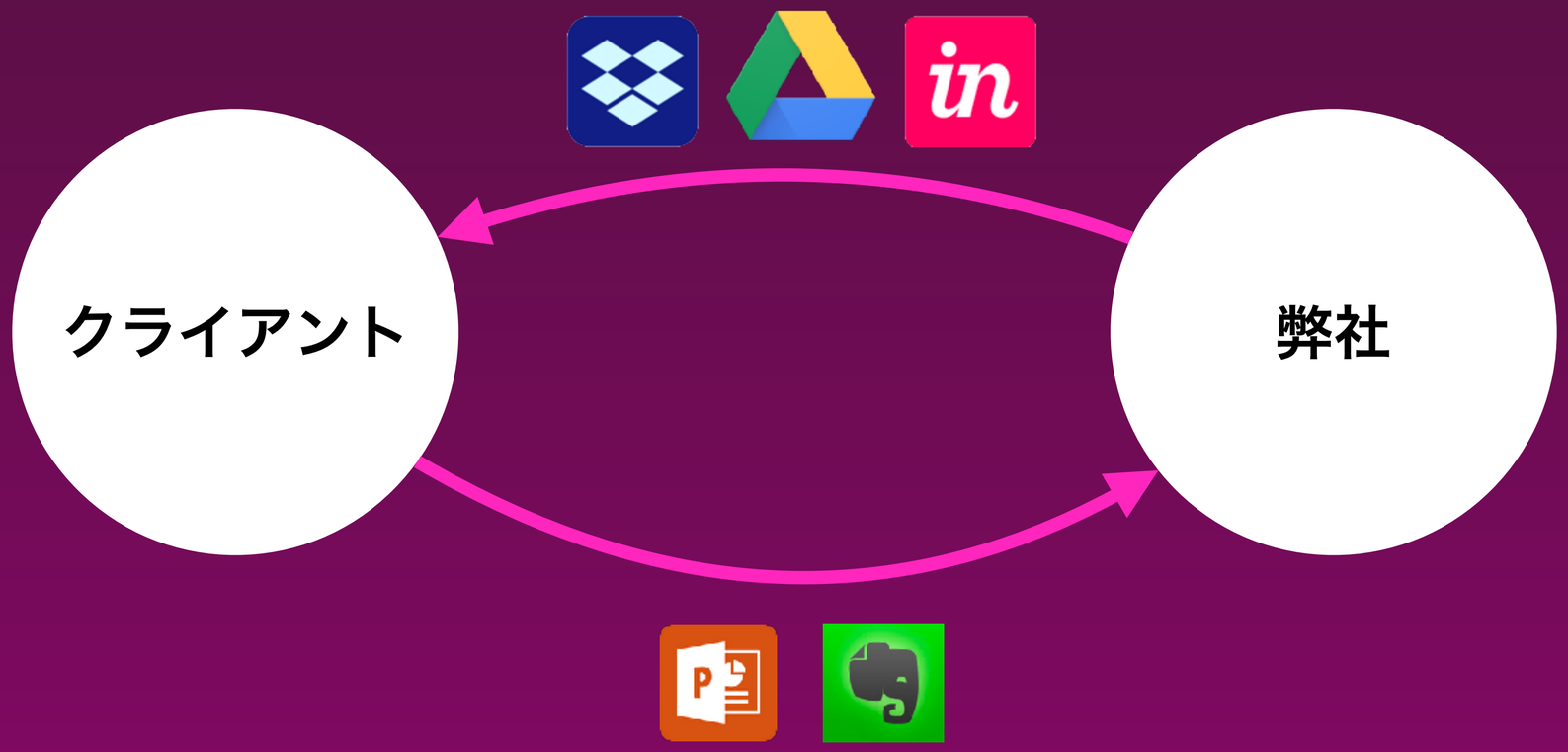
まとめ　クライアントが得られる価値

どのようにXDを活用しているか

活用ケース1

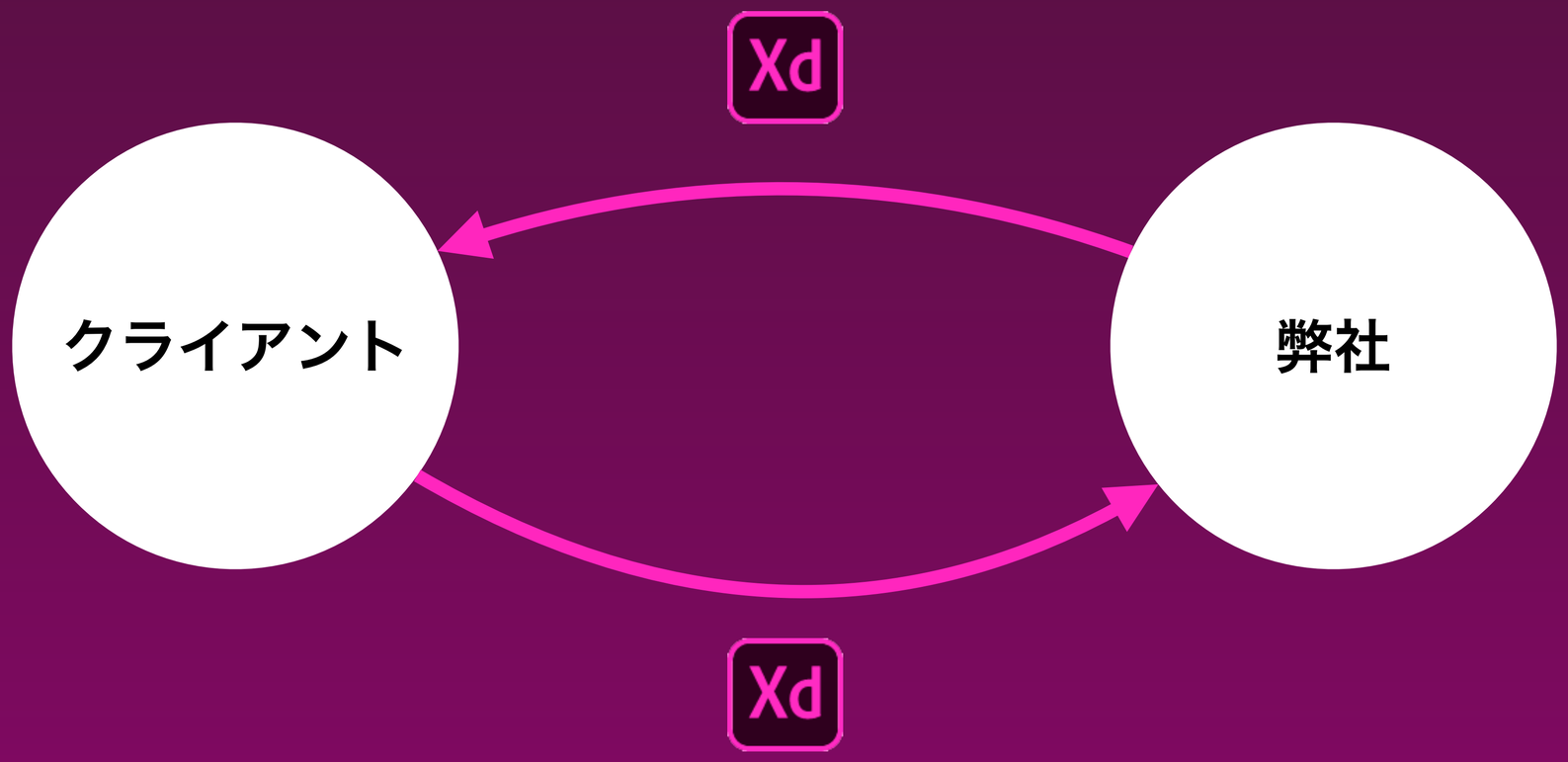
デザイン確認・共有する

ケース1：デザイン確認・共有する



デザインの共有とフィードバックが
異なるツールになってしまっていた

ケース1：デザイン確認・共有する



XDのみで完結するようになりました

ケース1：デザイン確認・共有する

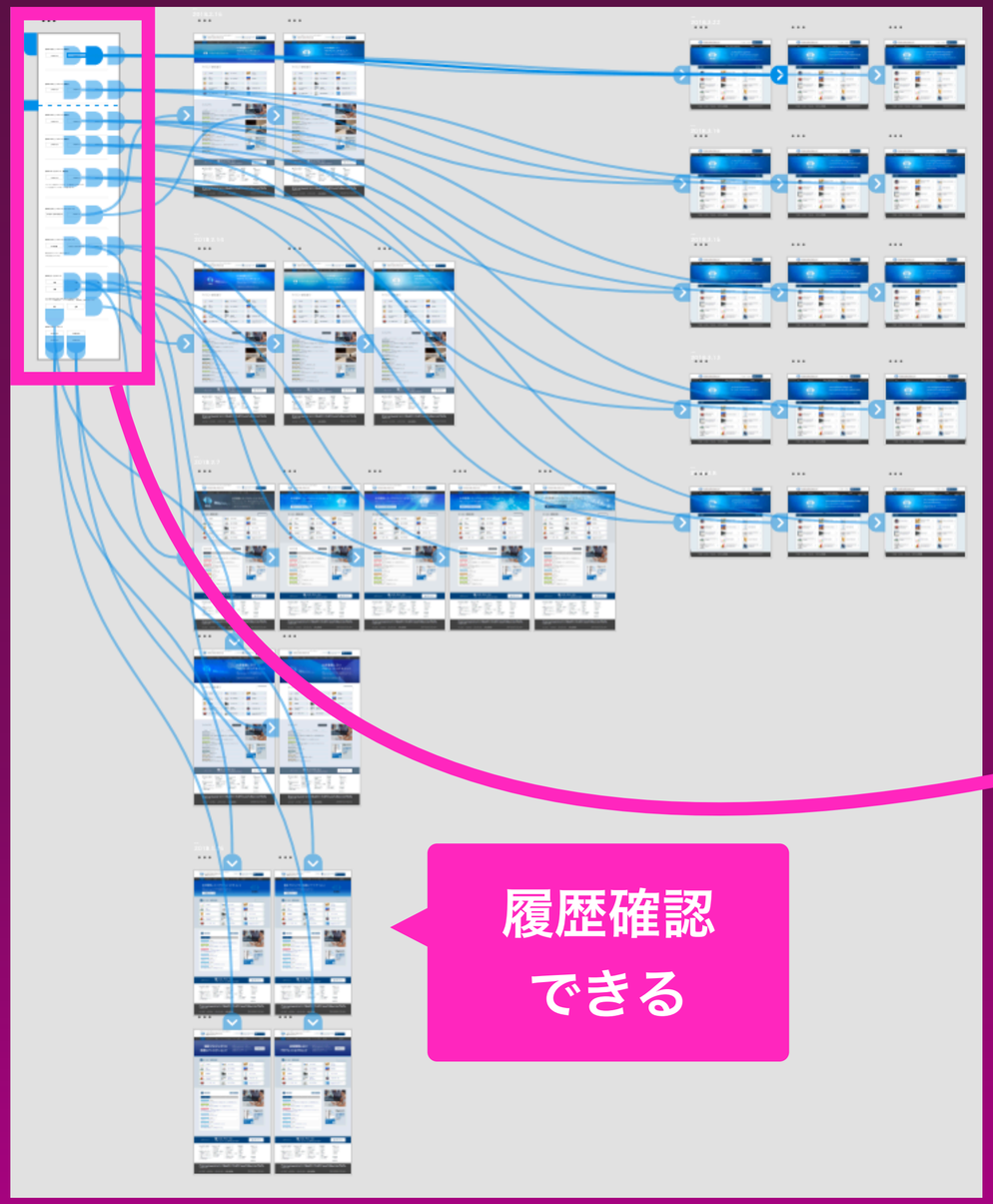
XD上で履歴も確認
できるようにしています

ケース1：デザイン確認・共有する

日付で管理

一覧で閲覧

ケース1：デザイン確認・共有する



履歴確認
できる

2018.2.14 トップページ（メインイメージ）

ロゴ写真 | ロゴマーク+ロゴタイプ | ロゴマーク

3案の違いはメインイメージ部分の表現です。
それ以外は同一となります。

2018.2.7 トップページ

a案 | b案 | c案
d案 | e案
f案 | g案

2018.1.25 トップページ

ロゴあり1 | ロゴあり2
ロゴなし1 | ロゴなし2

一覧で閲覧

ケース1：デザイン確認・共有する

・1箇所で確認できる
・これまでの経緯が確認しやすい

XD上でフィードバックが
完結しないケースもある

活用ケース2

XD上で原稿を作成する

ケース2：XD上で原稿を作成する

「実際のページ表示を確認しながら、
Webページの原稿作成を行いたい」
（CMSは導入されていない）

ケース2：XD上で原稿を作成する

XDで編集

XDで編集

ケース2：XD上で原稿を作成する

原稿ファイルが、
WordからXDに
変わりました

クライアントが
XDで編集

ケース2：XD上で原稿を作成する

書籍の執筆でも使ってみました

ケース2：XD上で原稿を作成する

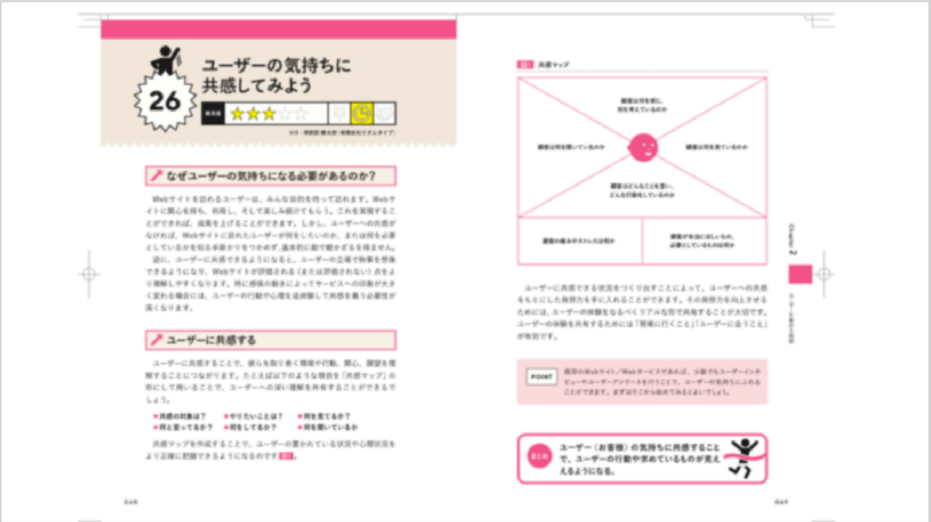
ケース2：XD上で原稿を作成する

02 目的とやるべきことをはっきりさせる

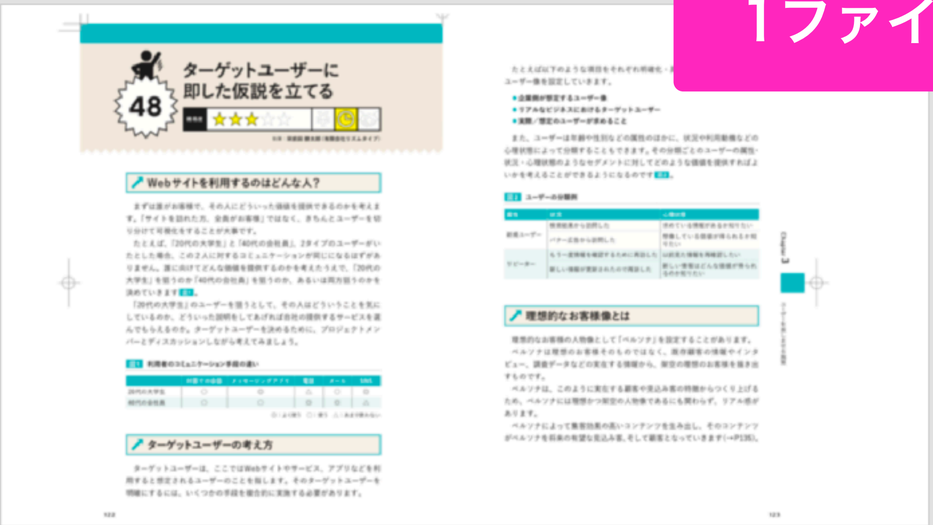
04 失敗する理由を考えてみよう

複数ページを
1ファイルで作成

26 ユーザーの気持ちに共感してみよう



48 ターゲットユーザーに即した仮説を立てる



ケース2：XD上で原稿を作成する

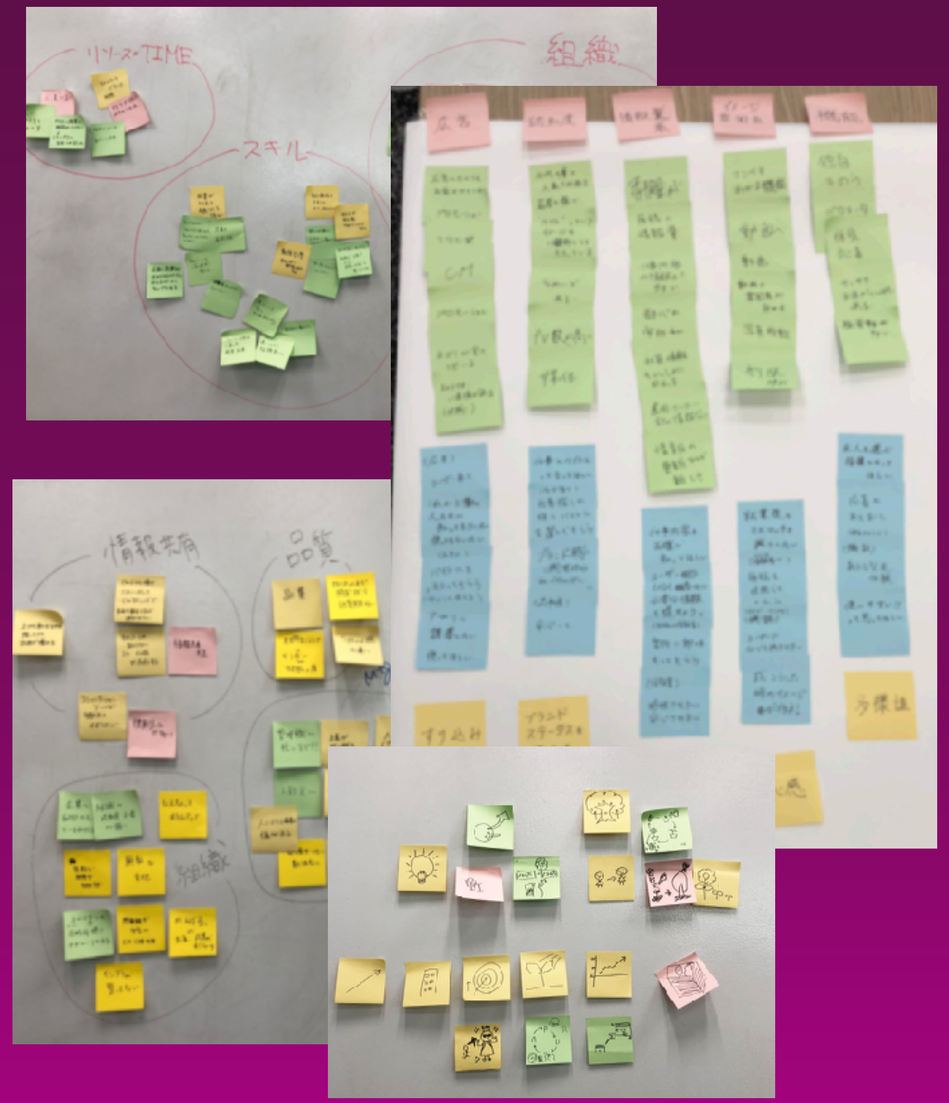
イメージしやすい、動作が軽い

XDじゃなくても
いいかもしれない

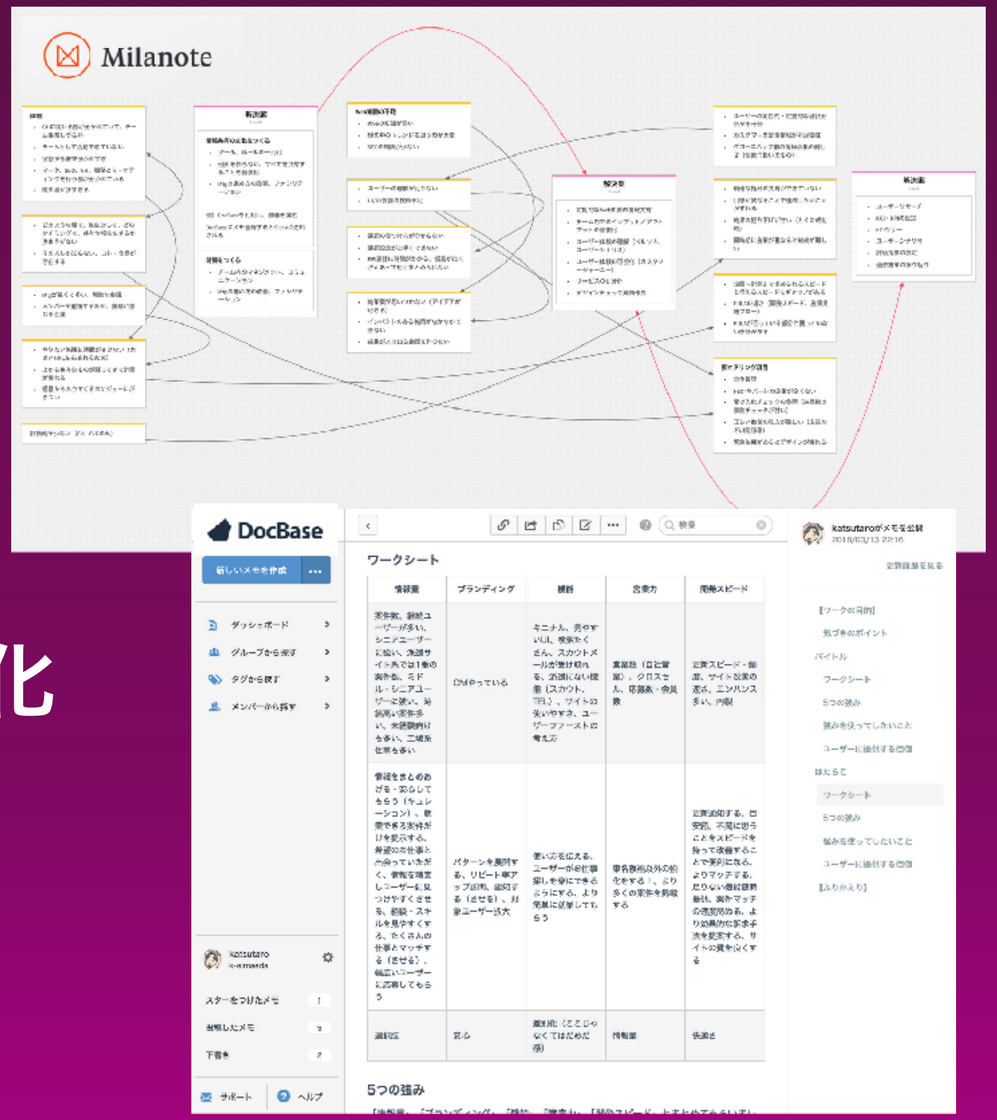
活用ケース3

ワークシートのアーカイブ化

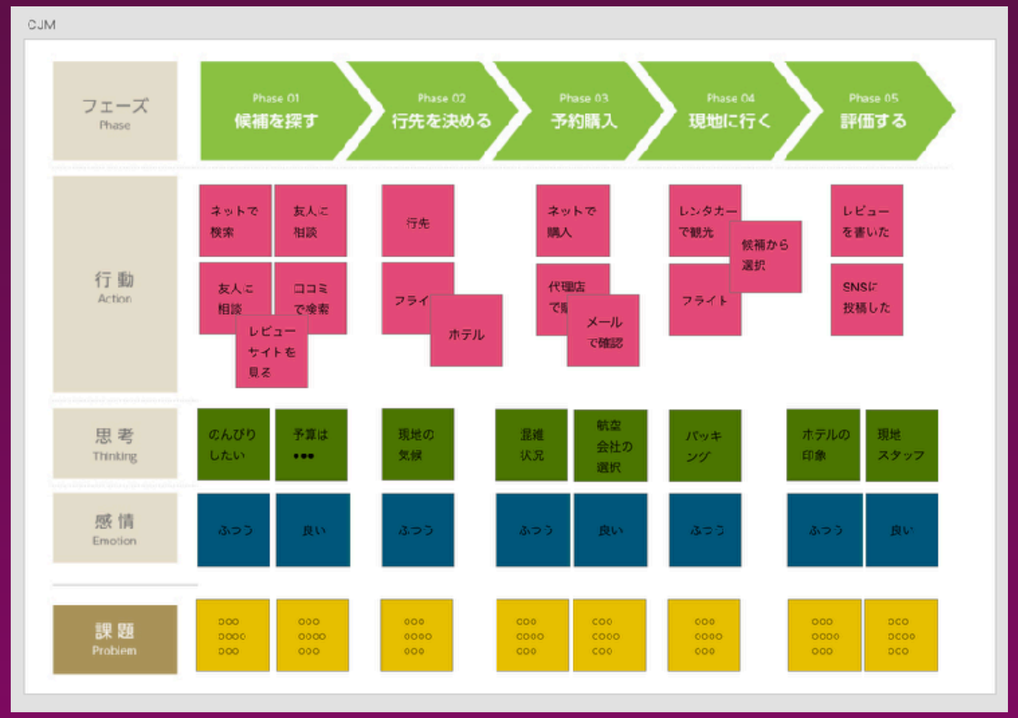
ケース3：ワークシートのアーカイブ化



アーカイブ化



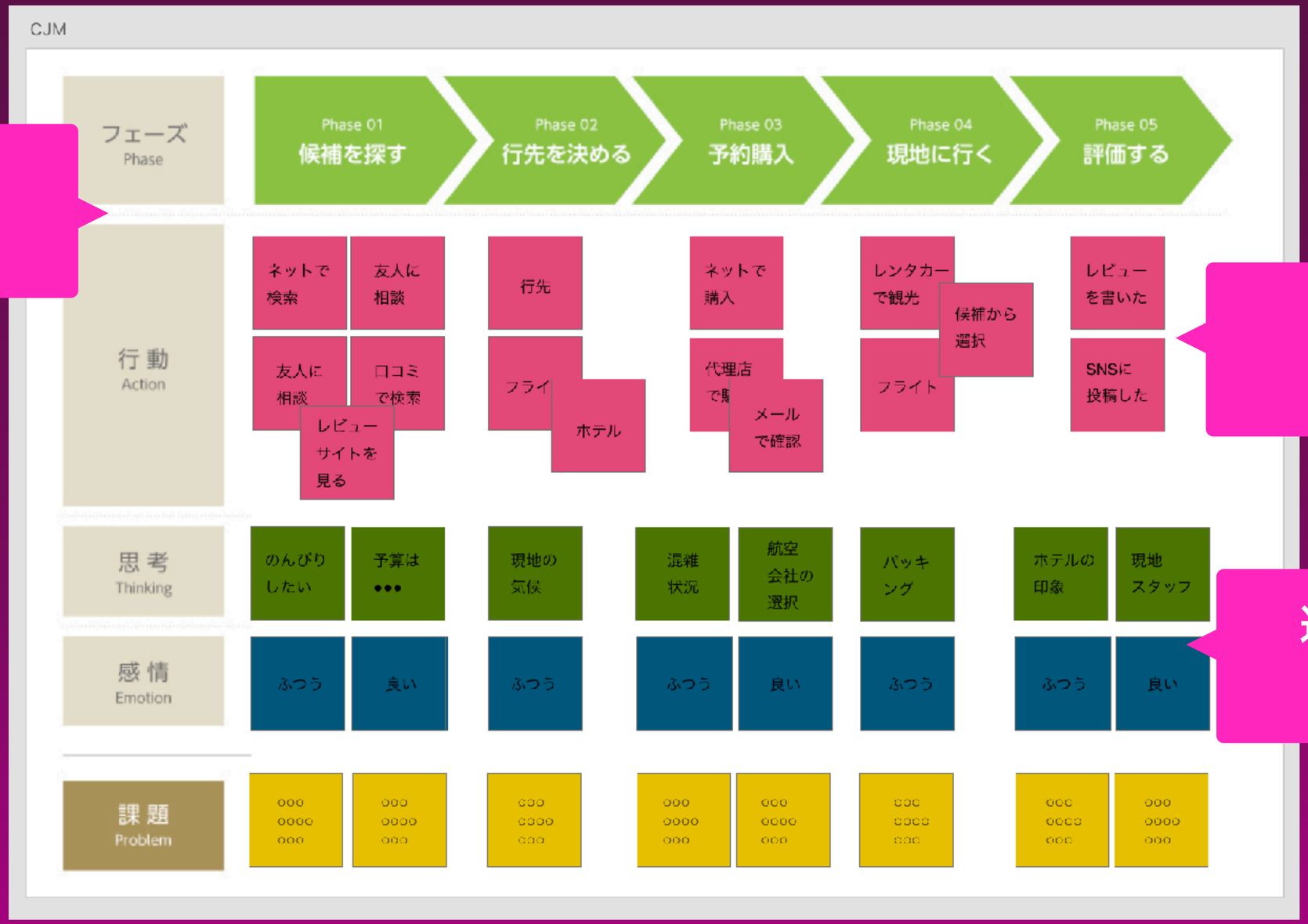
ケース3：ワークシートのアーカイブ化



カスタマージャーニーマップを
アーカイブ化

ケース3：ワークシートのアーカイブ化

URLで
共有できる



再整理
しやすい

追加・削除
できる

ケース3：ワークシートのアーカイブ化

デザインしてみました

ケース3：ワークシートのアーカイブ化

イメージ、共有しやすくなった

XDじゃなくても
いいかもしれない

クライアント視点から考えるXDの導入・活用方法

背景	クライアントが見ていること、思っていること
導入	どのようにXDを導入するか
活用	どのようにXDを活用しているか
まとめ	クライアントが得られる価値

XDが導入・活用できるポイント

デザイン

プロト
タイピング

イメージの
共有

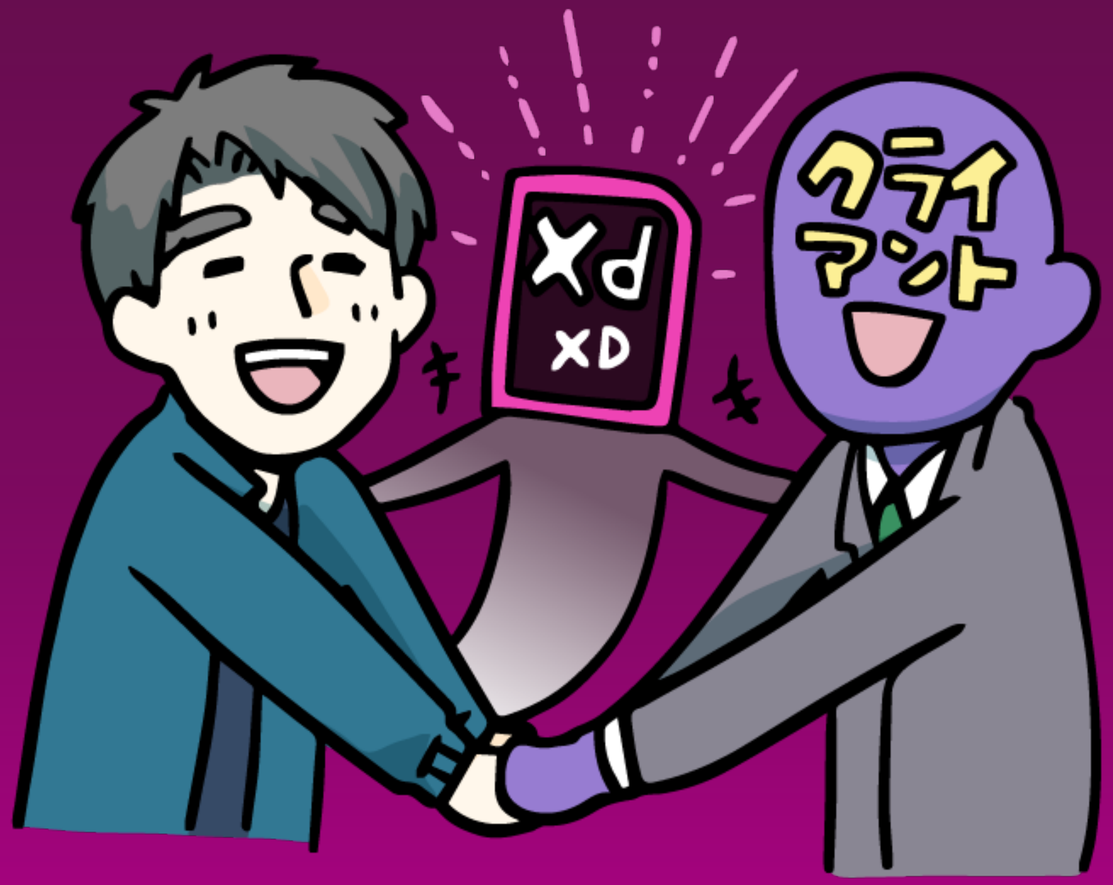
制作フローの効率化

コミュニケーション

クライアントが得られる価値

負荷		価値
学習コスト ツールの使い分け 確認の手間	<	負荷の軽減 新しい体験

XDは対話のためのツール



最後に

クライアントやプロダクトオーナーに
XDを導入することによって得られる価値を
伝えることを忘れずに

ありがとうございました

@katsutaro